

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和３年度第１・四半期

(令和３年４～６月)



武蔵小山創業支援センター
リニューアルオープン

目 次

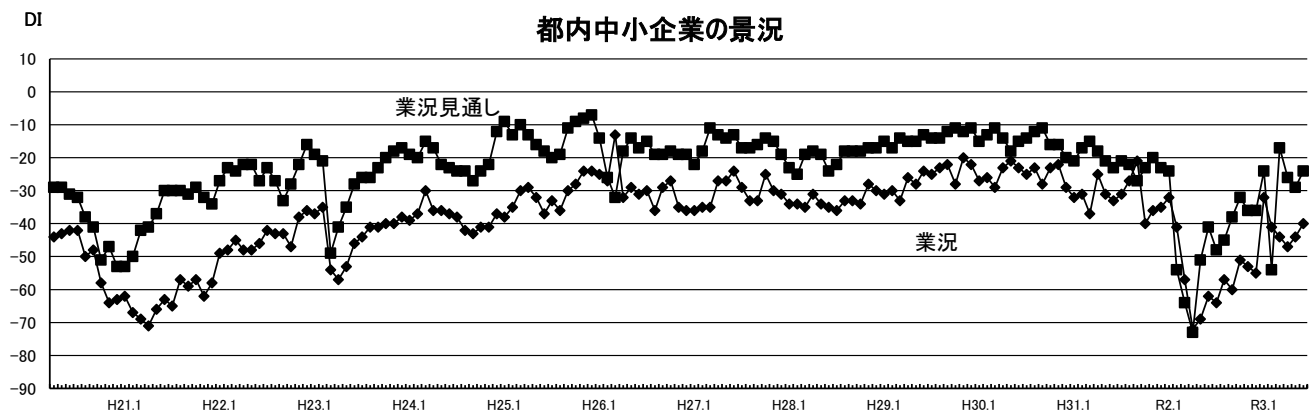
都内中小企業の景況（令和３年４～６月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和３年４～６月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製 造 業	4
卸 売 業	9
小 売 業	14
サービス業	19
建 設 業	23
日銀短観	27
東京都と品川区の企業倒産動向	27
特別調査「新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響について」	28
中小企業景況調査 比較表・転記表	34

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和3年4～6月期）

業況：全体でやや改善。製造業、卸売業で大幅に改善となるも、小売業でやや悪化。
見通し：小売業で極端に改善。卸売業、サービス業、製造業も大幅に改善の見通し。



業況 DI（季節調整済み、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は▲40（前期は▲44）と、やや改善した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比16ポイント増の▲24と、極端に改善する見通し。

	前 期 (R3.3)	今 期 (R3.6)	増 減	今後3ヶ月間 の見通し
製 造 業	▲38	▲28	10	▲21
卸 売 業	▲46	▲37	9	▲20
小 売 業	▲59	▲64	▲5	▲32
サービス業	▲36	▲34	2	▲24
全 体	▲44	▲40	4	▲24

令和3年6月の都内中小企業の業況 DI は、前期から4ポイント増の▲40と、やや改善した。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比16ポイント増の▲24と、極端に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、製造業（▲28）は10ポイント増、卸売業（▲37）は9ポイント増と大幅に改善し、サービス業（▲34）は2ポイント増とやや改善した。一方で、小売業（▲64）は5ポイント減とやや悪化した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）をみると、製造業（27）は14ポイント増と大幅に上昇し、卸売業（12）は4ポイント増、小売業（▲7）は2ポイント増とやや上昇した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（5）は3ポイント増とやや上昇した。一方で、製造業（▲5）、サービス業（▲7）はともに1ポイント増、小売業（▲15）は1ポイント減と、いずれも前期並となった。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、全業種で改善すると見込まれている。小売業（▲32）は32ポイント増と極端に改善し、卸売業（▲20）は17ポイント増、サービス業（▲24）は10ポイント増、製造業（▲21）は7ポイント増といずれも大幅に改善する見込みとなっている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和3年4～6月期）

業況：全体の景況感はやや改善。卸売業で極端に改善、製造業、小売業は大幅に悪化。
見通し：小売業、サービス業、製造業、卸売業で改善、建設業はやや悪化の見込み。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和3年4～6月期）の業況DIは▲52となり、引き続き厳しい状況ながらも、令和2年4月～6月期以降、4期連続で改善した。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R2. 10~12)	前期 (R3. 1~3)	今期 (R3.4~6)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲63	▲49	▲59	▲54
卸売業	▲62	▲60	▲39	▲36
小売業	▲66	▲60	▲69	▲59
サービス業	▲70	▲60	▲57	▲49
建設業	▲58	▲51	▲42	▲46
全体	▲64	▲56	▲52	▲47

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、やや改善した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においても、やや改善する見通しとなっている。業種別にみると、今期は卸売業で極端に改善、建設業では大幅に改善、サービス業はやや改善した。一方で、製造業、小売業は大幅に悪化した。来期は小売業、サービス業で大幅に改善、製造業、卸売業はやや改善、建設業ではやや悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、6月（速報）は生産、出荷、在庫は上昇、在庫率は低下となった。製造工業生産予測調査では、7月は前月比-1.1%の低下、8月は1.7%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている6月の消費者物価指数（2015年=100）は101.9（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で0.3%上昇した。

品川区の今期の特徴点

景 気 予 報						
						
A	B	C	D	E	F	G
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這 い	やや下降	下 降	大きく下降

全 体



業況はやや改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

製 造 業



業況は低調感がかなり強まった。売上額は前期並となり、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰から品薄に転じた。資金繰りは厳しさがかなり増した。

卸 売 業



業況は極端に改善した。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格は上昇に転じ、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

小 売 業



業況は低調感がかなり強まった。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は前期並となった。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は過剰感がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

サ ー ビ ス 業



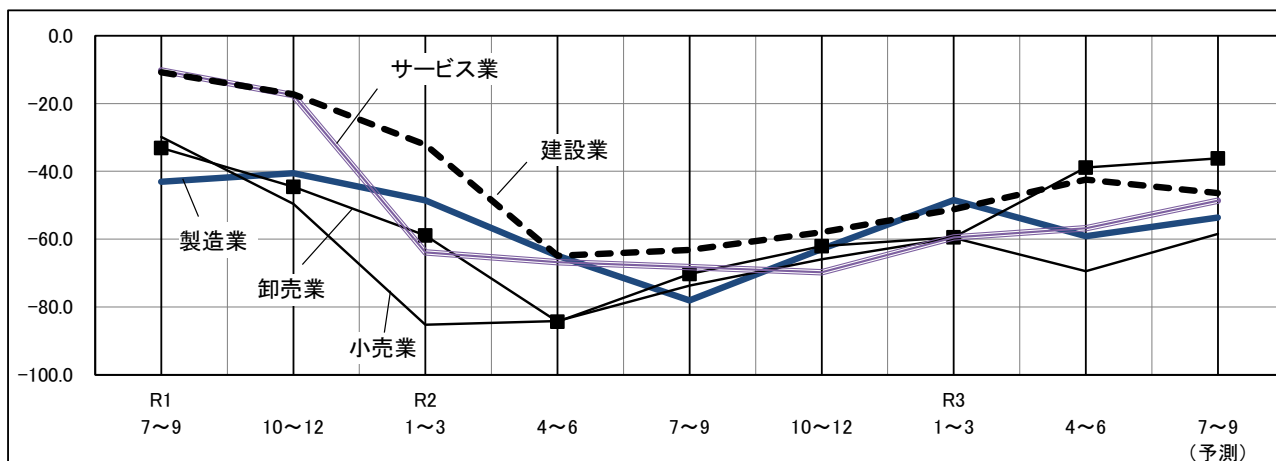
業況はやや改善した。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅がかなり縮小した。料金価格は下降傾向がやや弱まり、材料価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

建 設 業

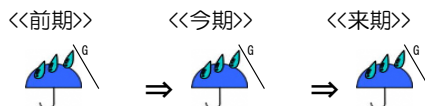


業況はかなり改善した。売上額は減少幅がかなり縮小した。施工高、収益はともに減少幅がやや拡大した。請負価格は下降傾向がかなり弱まり、材料価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰に転じた。資金繰りは厳しさがやや増した。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△49→△59)は低調感がかなり強まった。売上額(△38→△39)は前期並、収益(△48→△36)は減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は31ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△28→△18)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(23→39)は上昇傾向がかなり強まった。在庫(9→△2)は過剰から品薄に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△29→△37)は厳しさがかなり増し、借入難易度(11→△7)は厳しい状況に転じた。今期借入れをした企業は41%で前期の36%から5ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

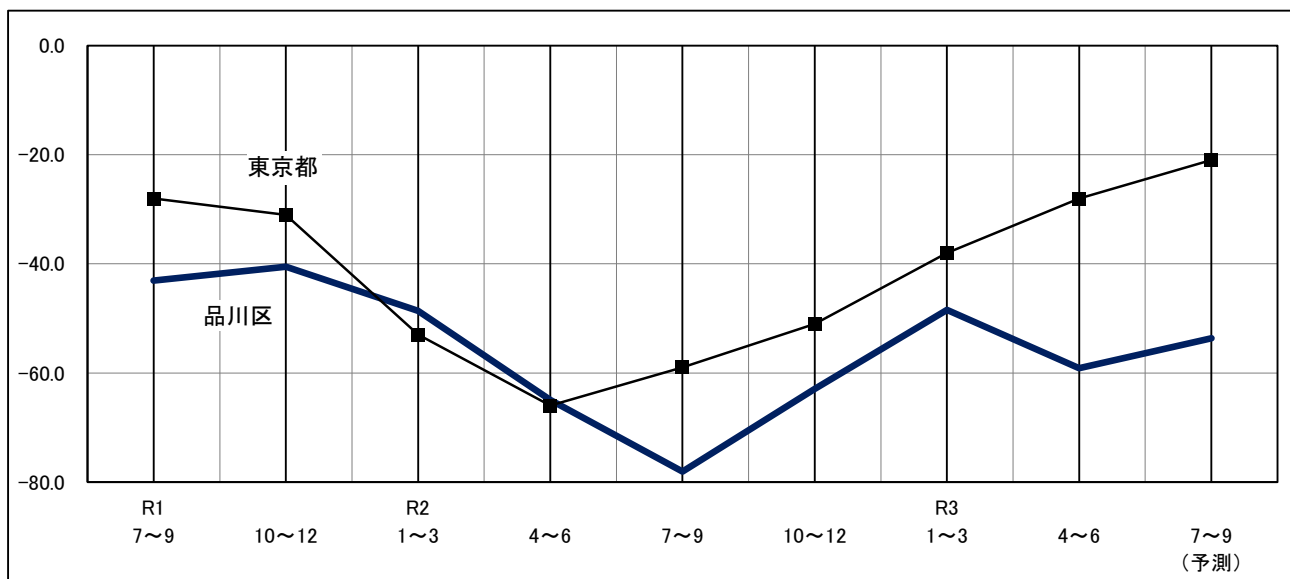
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が80%、2位は「原材料高」が38%、3位は「利幅の縮小」が28%となった。前期5位だった「原材料高」が、今期2位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が56%、2位は「経費を節減する」が50%、3位は「新製品・技術を開発する」が26%となった。前期同率3位だった「情報力を強化する」が、今期5位と順位を下げたが、他の上位3項目に変動はなかった。

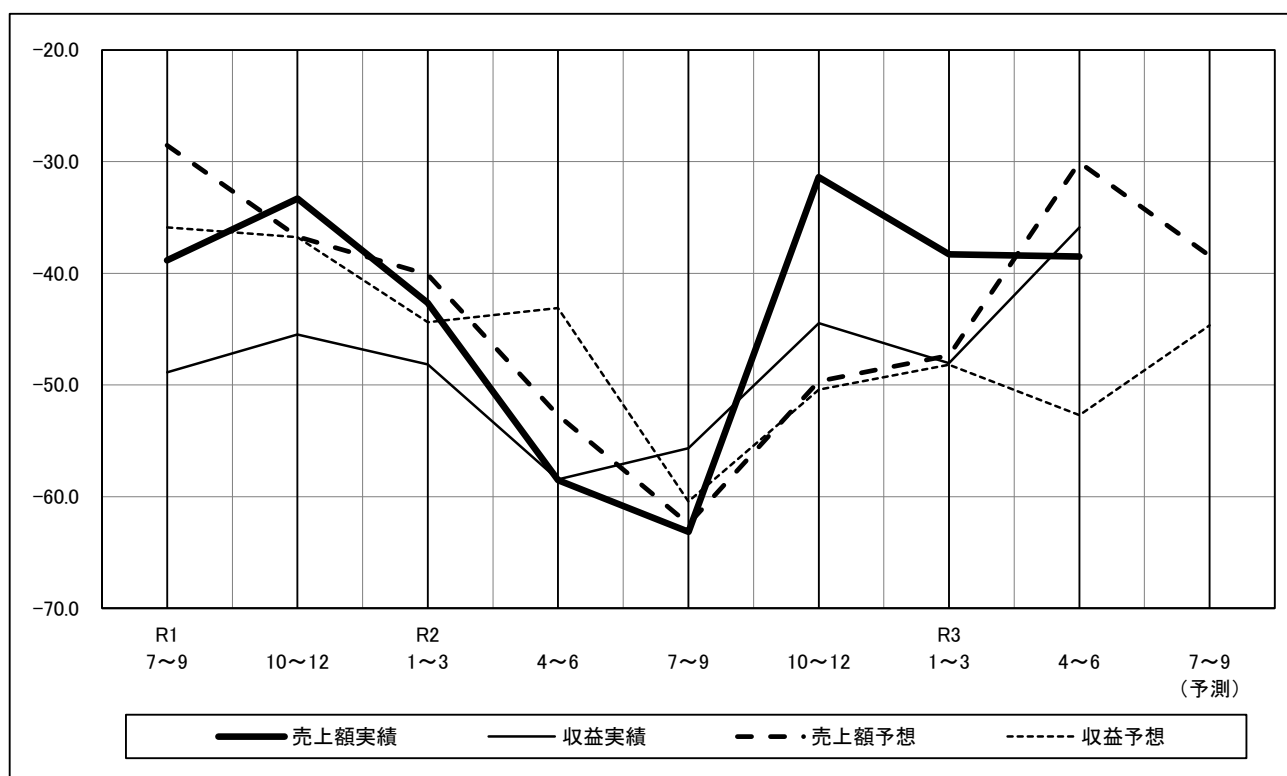
来期の見通し

業況(△59→△54)はかなり改善する見込み。売上額は今期並、収益は減少幅がかなり拡大すると予想されている。

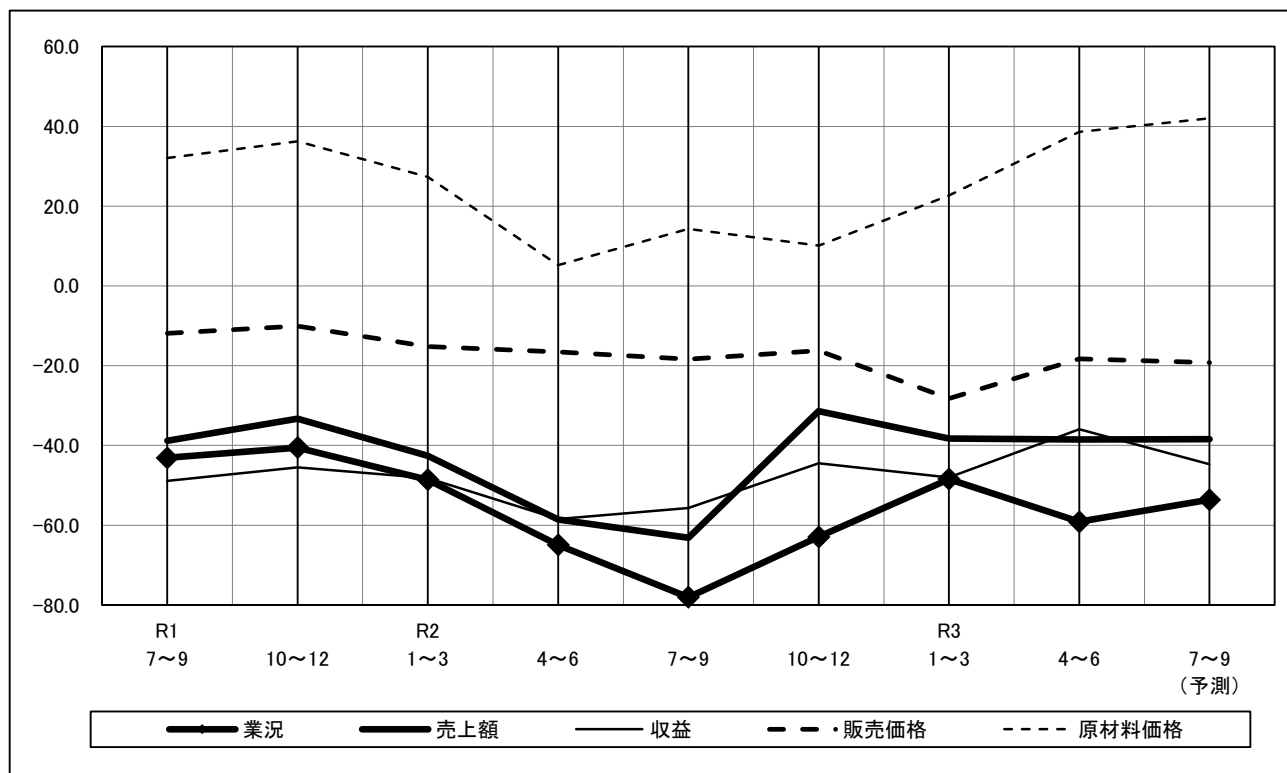
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



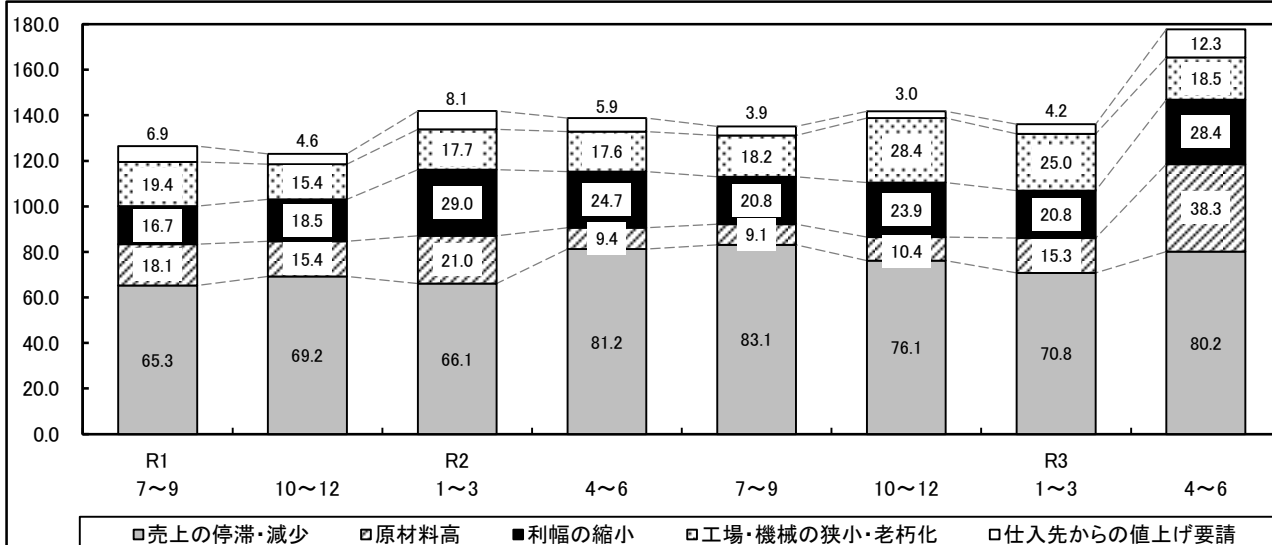
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

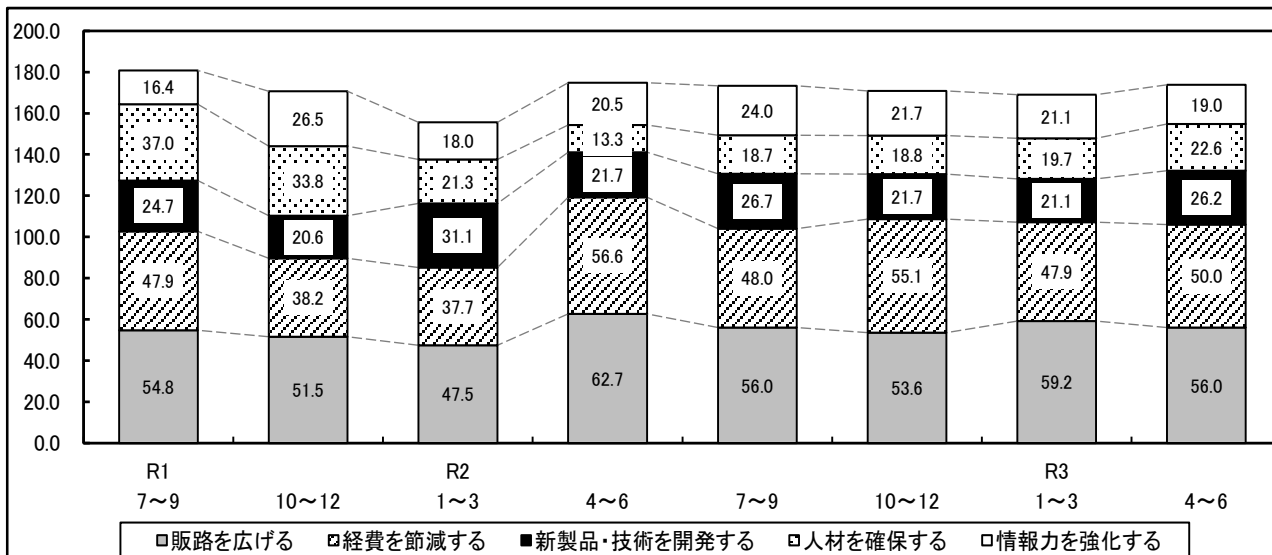


〈製造業〉 経営上の問題点（％）



	R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期	
第1位	売上の停滞・減少	83.1 %	売上の停滞・減少	76.1 %	売上の停滞・減少	70.8 %	売上の停滞・減少	80.2 %
第2位	利幅の縮小	20.8 %	工場・機械の狭小・老朽化	28.4 %	工場・機械の狭小・老朽化	25.0 %	原材料高	38.3 %
第3位	工場・機械の狭小・老朽化	18.2 %	利幅の縮小	23.9 %	利幅の縮小	20.8 %	利幅の縮小	28.4 %
第4位	合理化の不足	10.4 %	同業者間の競争の激化	16.4 %	同業者間の競争の激化	16.7 %	工場・機械の狭小・老朽化	18.5 %
	大手企業・工場の縮小・撤退	10.4 %						
第5位	原材料高	9.1 %	大手企業・工場の縮小・撤退	11.9 %	原材料高	15.3 %	仕入先からの値上げ要請	12.3 %
	人件費以外の経費増加	9.1 %						

〈製造業〉 重点経営施策（％）



	R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期	
第1位	販路を広げる	56.0 %	経費を節減する	55.1 %	販路を広げる	59.2 %	販路を広げる	56.0 %
第2位	経費を節減する	48.0 %	販路を広げる	53.6 %	経費を節減する	47.9 %	経費を節減する	50.0 %
第3位	新製品・技術を開発する	26.7 %	新製品・技術を開発する	21.7 %	情報力を強化する	21.1 %	新製品・技術を開発する	26.2 %
					情報力を強化する	21.1 %		
第4位	情報力を強化する	24.0 %	人材を確保する	18.8 %	人材を確保する	19.7 %	人材を確保する	22.6 %
第5位	人材を確保する	18.7 %	教育訓練を強化する	11.6 %	教育訓練を強化する	18.3 %	情報力を強化する	19.0 %

(1) 電気機械器具

業況(△62→△42)は極端に改善した。売上額(△39→5)、収益(△59→5)はともに増加に転じた。販売価格(△12→0)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(24→42)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△4→△32)は厳しさが極端に増した。

来期の業況はやや改善すると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△51→△76)は低調感が極端に強まった。売上額(△38→△48)、収益(△49→△60)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(△27→△17)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(31→55)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△29→△28)は前期並となった。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△46→△63)は低調感がかなり強まった。売上額(△44→△58)、収益(△48→△58)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(△39→△31)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(0→△8)は下降に転じた。資金繰り(△54→△31)は厳しさが極端に和らいだ。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△31→△59)は低調感が極端に強まった。売上額(△14→△58)、収益(△25→△59)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(△21→△24)は下降傾向がやや強まり、原材料価格(33→44)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△27→△69)は厳しさが極端に増した。

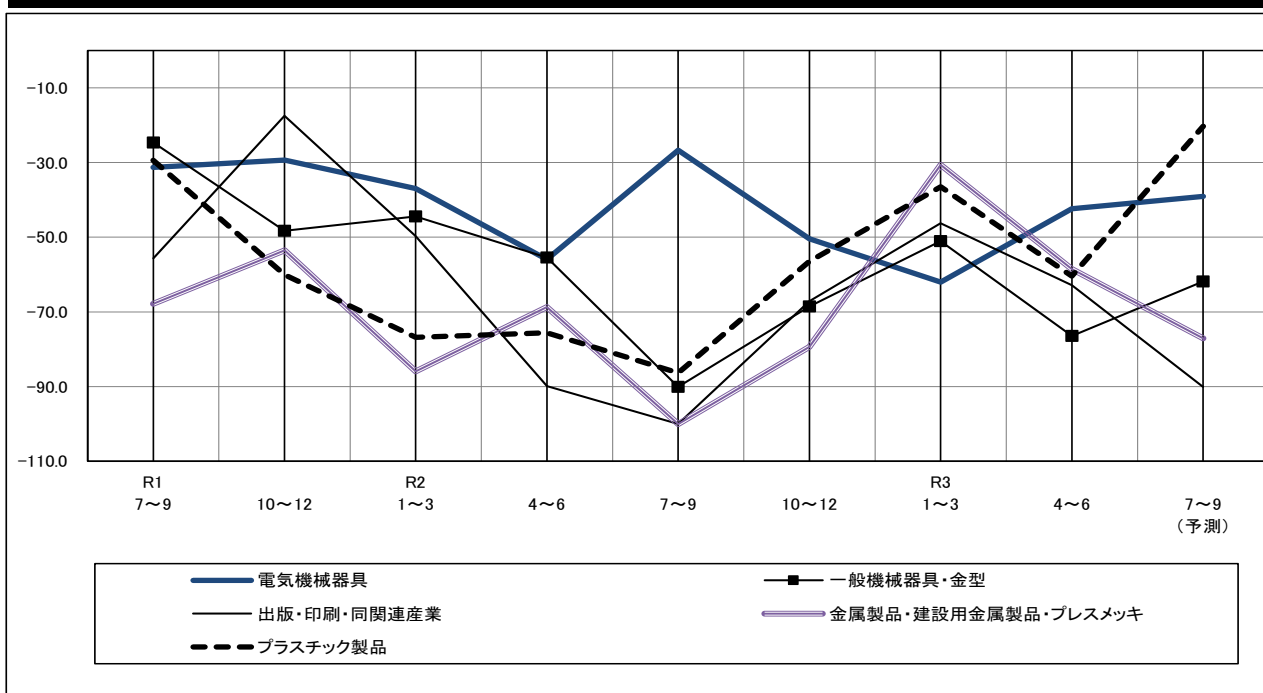
来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△37→△60)は低調感が極端に強まった。売上額(△46→△52)は減少幅がかなり拡大し、収益(△48→△34)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(△45→△32)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(24→58)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△35→△30)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



製造業 業種別コメント

＜電気機械器具＞

1. 原材料高による利幅の縮小。新規顧客との取引開始により売上利益増。人材確保難による人手不足。
2. ほぼ状況は変わらない。
3. 客先の資金難で納入が引き延ばされている。
4. 昨年の新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言後、受注が毎月10%位減少したまま推移している。技術社員を募集しているが、なかなか集まらない。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響で景気がストップしている。4月5月は売上が0円である。早くおさまってほしい。
6. 前年同期より売上、利益共に増加しているが、7～9月は季節商品がなく、減少する。
7. 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少傾向にある。

＜一般機械器具・金型＞

1. 上期受注物件が不足している。下期は受注物件を確保している。
2. 新型コロナウイルス感染症による営業力の減少。客先の設備投資計画の変更や中止。海外案件の減少。
3. 不景気によるクライアントからの値下げ要請と仕入先からの値上げの板挟みになっている。
4. 客先が食品会社、食品加工会社、外食産業が多いので、新型コロナウイルス感染症の影響で引き合い及び売上が不調。
5. 工作機械業界自体は外需の伸びによって活況であるが、当社にまでその波がきていない。乗りきれていない状況。
6. 忙しい時とそうでない時の差が大きい。
7. 工場が狭小のなか工作機械を入れ替えたいのであるが、狭いため大型機械の入れ替えができない。区内への移転を望んでいるが、物件が少ない。
8. 客先メーカー等がテレワーク対応等により発注が遅れ、納期が短くなり見積りコストでの調達、購入が難しい。

＜出版・印刷・同関連産業＞

1. 売上の減少。コロナ禍の営業による経済停滞で当社の仕事（研修の資料作成）が激減している。
2. 需要縮小、減益。
3. デジタル化、DXの進行で仕事が減少する中、同業者との競争や大手の参入で売上減少。
4. リモートワーク等の導入など出来ず、今後の新型コロナウイルス感染症の収束が懸念される。
5. 売上が減っても資金繰りが楽なら問題なし。
6. 受注が増えず設備が回らないので、売上も上がらない。昨年同月比では増加となっても、その対比には意味が無い。しかも材料（プラスチック類）、燃料は値上げ要請がきている。
7. 新型コロナウイルス感染症の拡大、オリンピック後の状況の不透明が気になる。

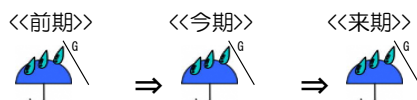
＜金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ＞

1. 景況は新型コロナウイルス感染症の終焉時期が何時になるかで左右される部分が大いと思われる。
2. 大企業の進出により売上は減少傾向である。
3. 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少しています。
4. 新型コロナウイルス感染症の影響大。
5. 景気の安定、拡大待ち。
6. 受注先の注文減少。受注先廃業の為受注減少。

＜プラスチック製品＞

1. 需要が増え、増収増益が続いている。
2. 最低でも損益分岐点の売上がほしい。今は無理をしない。
3. 減収減益が続いている。
4. 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により売上が左右される。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 60 \rightarrow \Delta 39$) は極端に改善した。売上額 ($\Delta 49 \rightarrow \Delta 7$)、収益 ($\Delta 50 \rightarrow \Delta 12$) はともに減少幅が極端に縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は 2 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 ($\Delta 16 \rightarrow 8$) は上昇に転じ、仕入価格 ($18 \rightarrow 33$) は上昇傾向がかなり強まった。在庫 ($14 \rightarrow 13$) は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 10$) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 ($0 \rightarrow \Delta 7$) はかなり悪化した。今期借入れをした企業は 34% で前期の 40% から 6 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

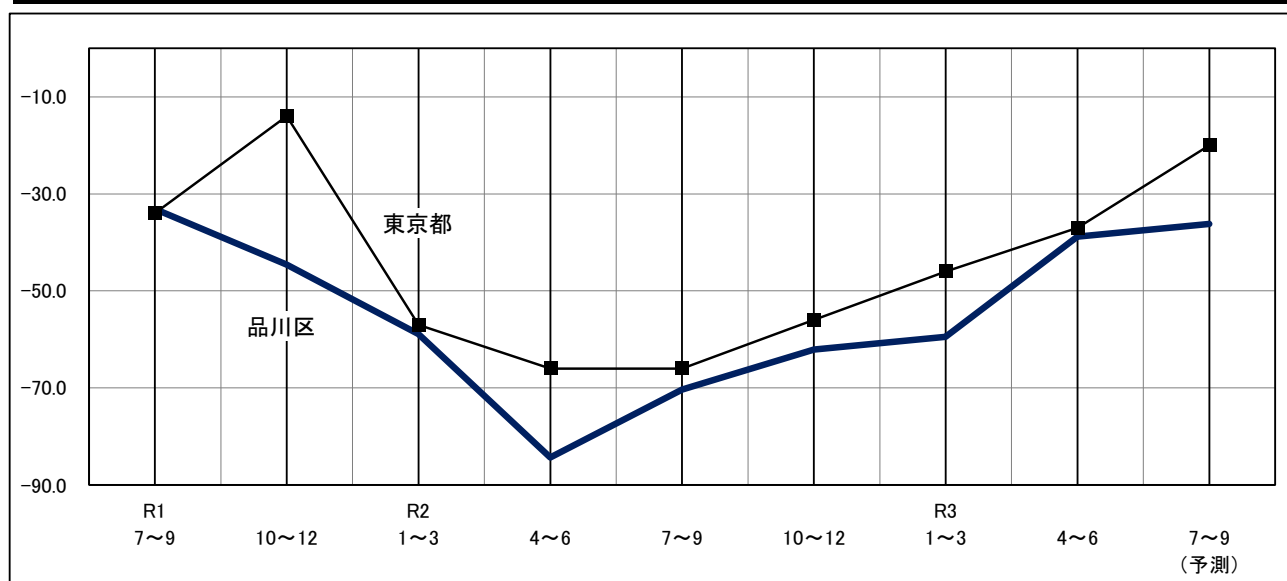
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 61%、2 位は「利幅の縮小」と「取引先の減少」が 24%、3 位は「同業者間の競争の激化」が 22% となった。前期 5 位だった「取引先の減少」が、今期 2 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 67%、2 位は「経費を節減する」が 42%、3 位は「情報力を強化する」が 33% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

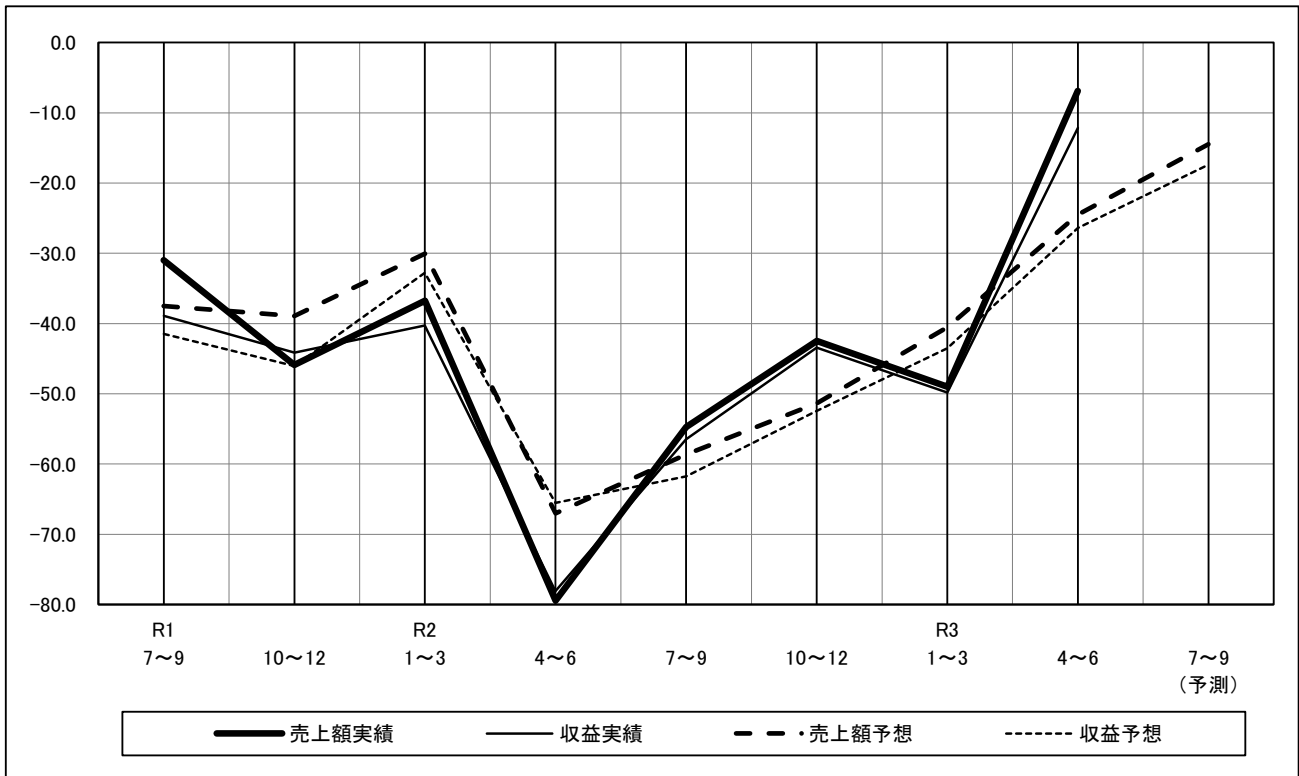
来期の見通し

業況 ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 36$) はやや改善する見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

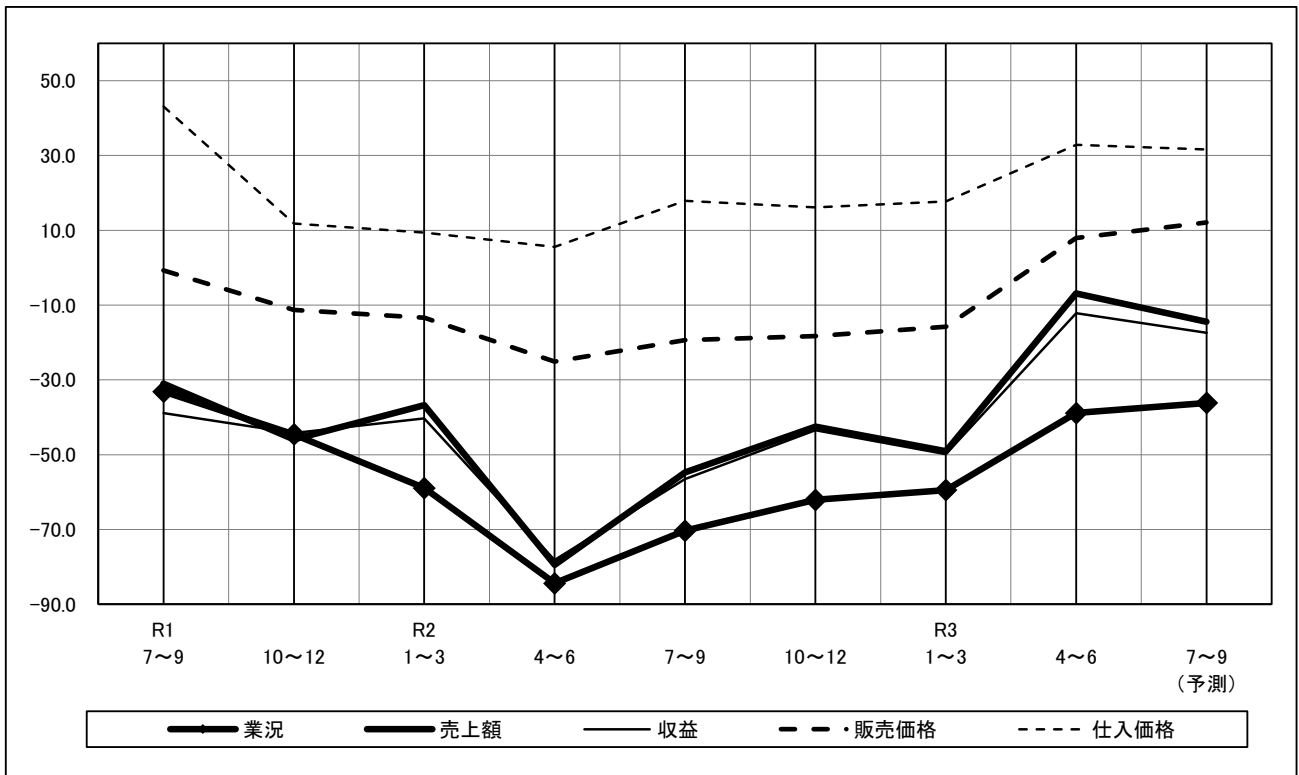
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



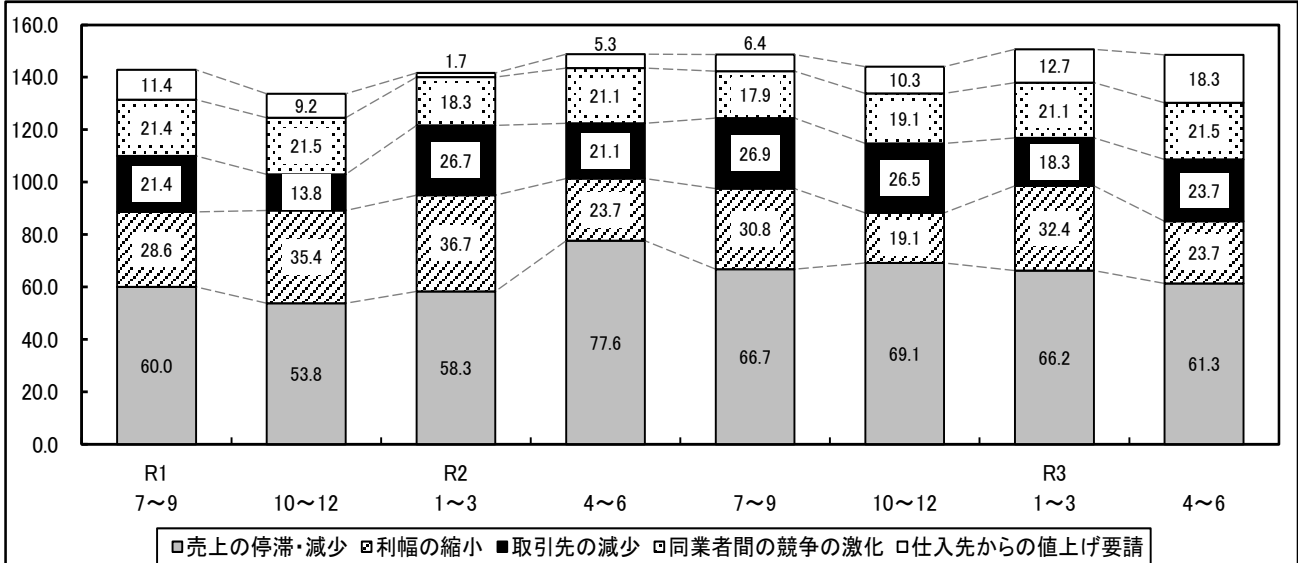
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

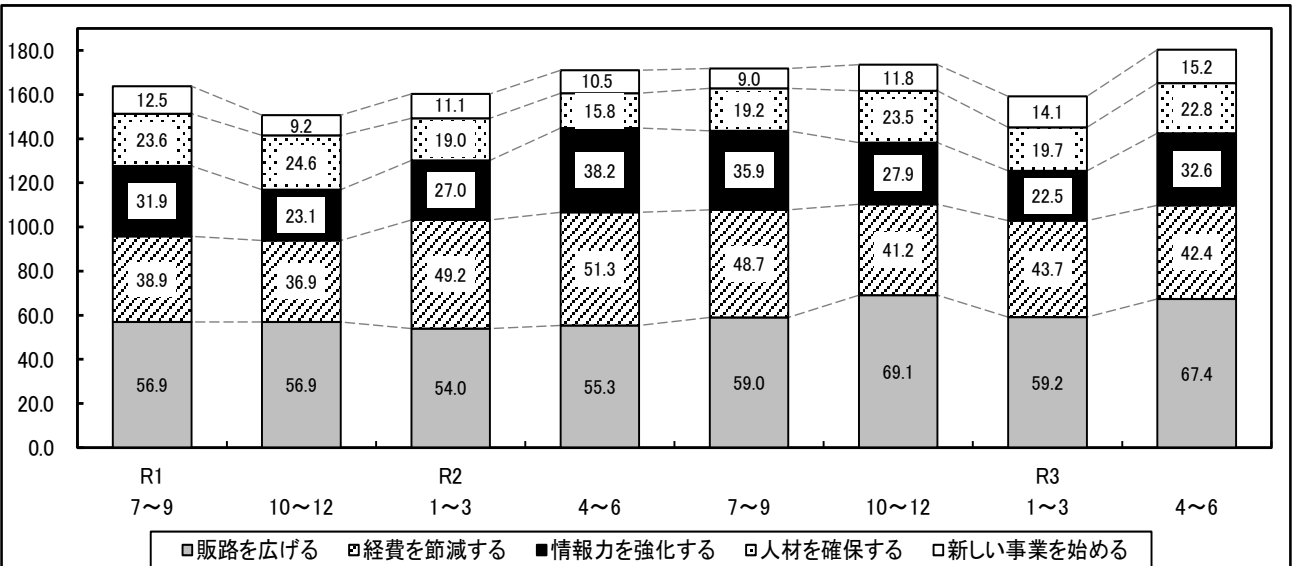


〈卸売業〉 経営上の問題点（％）



	R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期	
第1位	売上停滞・減少	66.7 %	売上停滞・減少	69.1 %	売上停滞・減少	66.2 %	売上停滞・減少	61.3 %
第2位	利幅の縮小	30.8 %	取引先の減少	26.5 %	利幅の縮小	32.4 %	利幅の縮小	23.7 %
第3位	取引先の減少	26.9 %	利幅の縮小	19.1 %	同業者間の競争の激化	21.1 %	取引先の減少	23.7 %
第4位	同業者間の競争の激化	17.9 %	同業者間の競争の激化	19.1 %	同業者間の競争の激化	21.1 %	同業者間の競争の激化	21.5 %
第5位	人手不足	14.1 %	小口注文・多頻度配送の増加	14.7 %	人手不足	19.7 %	仕入先からの値上げ要請	18.3 %
			人手不足	11.8 %	取引先の減少	18.3 %	為替レートの変動	16.1 %
			合理化の不足	11.8 %				

〈卸売業〉 重点経営施策（％）



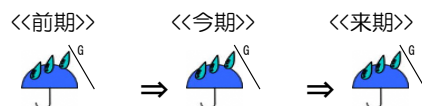
	R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期	
第1位	販路を広げる	59.0 %	販路を広げる	69.1 %	販路を広げる	59.2 %	販路を広げる	67.4 %
第2位	経費を節減する	48.7 %	経費を節減する	41.2 %	経費を節減する	43.7 %	経費を節減する	42.4 %
第3位	情報力を強化する	35.9 %	情報力を強化する	27.9 %	情報力を強化する	22.5 %	情報力を強化する	32.6 %
第4位	人材を確保する	19.2 %	人材を確保する	23.5 %	品揃えを充実する	21.1 %	人材を確保する	22.8 %
第5位	品揃えを充実する	10.3 %	教育訓練を強化する	16.2 %	人材を確保する	19.7 %	新しい事業を始める	15.2 %
	教育訓練を強化する	10.3 %						

卸売業 業種別コメント

1. 主要取引先からの受注が安定しているので、コロナ禍にもかかわらず経営は安定している。
2. 景気動向により、仕入商品の数が不安定である。
3. 現状は安定しているが、近い将来に向け新事業の構築を進めている。
4. 売上減少の為、新規営業で顧客を増やすがおいつかない。
5. 各取引先よりの受注の伸び悩み、低いレベルで停滞状況が続いている。まだまだ新型コロナウイルス感染症による先行きの不透明感が強く、取引先店舗への顧客来店が低調で全体的には厳しい状況が続いている。
6. 顧客の減少。
7. 輸入牛肉、豚肉、国内鶏肉の価格アップが売値に転嫁できていないので、利益率がダウンしている。
8. 新型コロナウイルス感染症の影響で借入ばかり続いている。なんとか乗り切っているが、昨年の持続化給付金のような大きなお金がほしい。営業も以前と同じには戻るのはかなり時間がかかると思うので返済負担を少しでも軽くしたい。当社は9割以上が休業となり苦しい経営を強いられている。
9. 飲食店の酒類提供中止に伴い、販売減。
10. 昨年よりも売上は増えたが、新型コロナウイルス感染症の発生以前には戻っていない。人の移動や観光が戻らないと業績は回復しない。
11. 業務用食品の卸売をしているがコロナ禍の緊急事態宣言に伴い、酒類及び時間短縮の要請によりお得意様の売上は減少して注文が減るばかり。早く新型コロナウイルス感染症が収束される事を望むばかり。
12. 新型コロナウイルス感染症により飲食店の売上が減少している。
13. 仕入先の高齢化による商品の購入が難しい。全ての労働者の収入増が見込めない限り景気は良くならない。
14. 米国発のウッドショックによって上棟数が減少する事は確実のため、改築や増築へのシフトと、それに見合う商品群の施策及び施工技術の向上をめざして売上高の減少を防ぐ予定。
15. 特段大きな売上の変動なし。
16. 現在、売上収益ともやや減少気味だが、仕入価格の上昇が予想されるため、売上に反映させないと収益の悪化も予測される。
17. 取引は安定している。
18. 海外へ移転した工場が思ったほど国内へ戻って来ない。産業の空洞化が是正されていない。
19. 新型コロナウイルス感染症の影響で取引状況が不安定。
20. 人材の確保が困難。
21. 海外需要が増えてきている。日本の立ち直りが遅いためと思われる。バリューチェーンも海外へ移行。
22. 昨年の同時期よりは景況が改善されてはいるが、長引く不況に加えコロナ禍の追い打ちで取引先の廃業が続いている。当面厳しい経営状況が続くと思われる。
23. 廃業する方からの引き継ぎがあり、8月頃からは増収の見込み。
24. 主要取引先が納入している製造部門をクローズしたので、売上が大幅にダウンする。
25. 新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、利益は徐々に改善してきている。
26. 社員の高齢化。
27. 同業者間の競争が激化し、売上利益の確保が難しい。
28. 自動車産業生産調整の影響あり。減収となっている。
29. 主要取引先よりの受注が減少し、利益が少なくなっている。
30. 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービス業の倒産（販売先の減少）。
31. 製品の時代遅れ化が進んでおり、新規状態への移行が必要。
32. 新事業（演出照明）のリース業とその関連商品が伸びている。
33. 既存製品販売減少とそれを補充する新製品開発。
34. 新型コロナウイルス感染症のため客先訪問ができず、新規顧客開拓が困難である。
35. 半導体不足で増収増益。
36. コロナ禍でも安定して受注できている。

- 37. インターネット通販需要が増え増収増益が続いている。市場ニーズをさらに幅広く取り込み取扱商品の幅を広げていくことが今後の成長に必要とされる。増収増益の要因としてはコロナ禍による通販需要増。
- 38. 売上回復傾向。通常営業に戻りつつあるため。
- 39. 主要取引先から安定して受注を確保しているものの、たびたびの緊急事態宣言による取引先の休業は休みの間の取引がなくなってしまうので厳しい。
- 40. ライフスタイルの変化（巣ごもり、買いだめ）による売上のUP。
- 41. 需要が戻りつつあるも緩やか。ドイツメーカーのコストが上がり、ユーロも高いも、国内価格に反映できる状況ではないため、利益額が下落。コロナ禍の早い脱出により景気が回復することを期待。
- 42. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛等により、卸先であるエステティックサロンの来客減少により商品流通が減少している。
- 43. 海外製品の増加により、売上は減少傾向にある。
- 44. 自動車の売上減による下請けへの影響。
- 45. 主要取引先から販売単価の値下げ、仕入先からは材料値上がりの為の値上げ要請があり、利益減少が続いている。
- 46. 増収減益が続いている。利幅の大きい商品が売上不振。
- 47. 新規案件、新規商品取扱いにより、現行販売先の売上減をこの1年カバーしてきたので、引き続き行う。
- 48. 売上の確保が厳しい。
- 49. 対面営業が出来ない事。
- 50. 需要が減り、減収減益が続いている。
- 51. 昨年の新型コロナウイルス感染症の影響による買換え要因により今期は売上増にあるが、根本的改善には至らない。変化に対応し新分野に挑戦しなければならないと思っている。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△60→△69)は低調感がかなり強まった。売上額(△51→△60)は減少幅がかなり拡大し、収益(△62→△61)は前期並となった。

なお、全都と比較した当区の業況は5ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△14→△7)は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格(4→27)は上昇傾向が極端に強まった。在庫(4→19)は過剰感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△37→△31)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(7→△13)は厳しい状況に転じた。今期借入れをした企業は46%で前期の62%から16ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

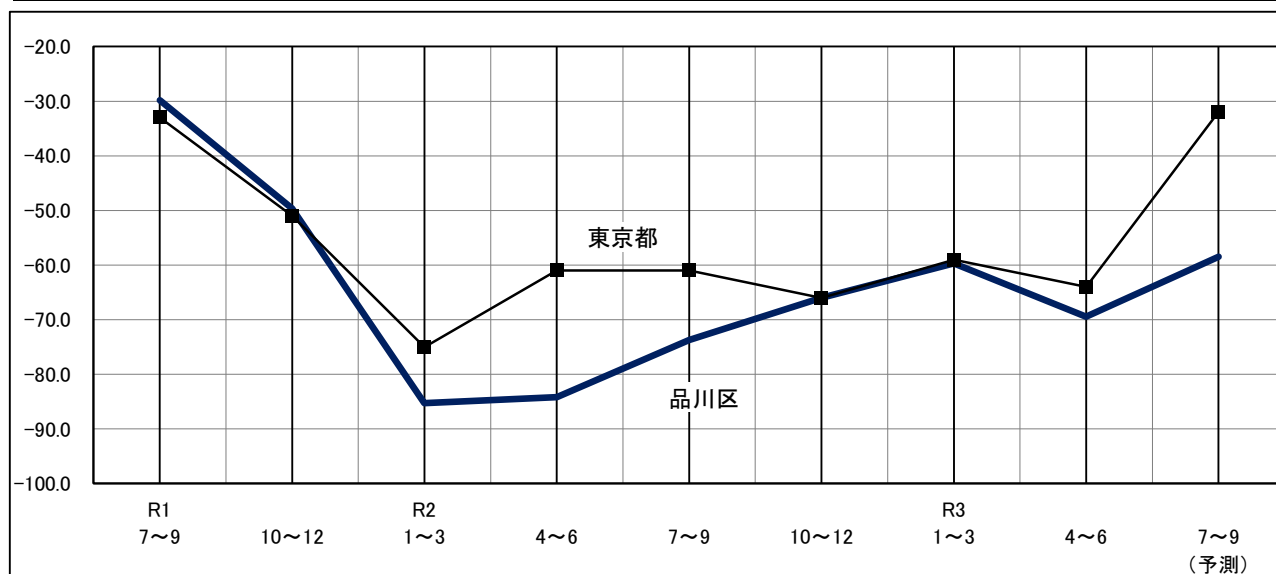
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が82%、2位は「その他」が21%、3位は「同業者間の競争の激化」と「人件費の増加」が16%となった。前期圏外だった「その他」が、今期2位と順位を上げ、「新型コロナウイルス感染症の影響」という回答が大半を占めた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が53%、2位は「品揃えを改善する」が34%、3位は「宣伝・広報を強化する」が30%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

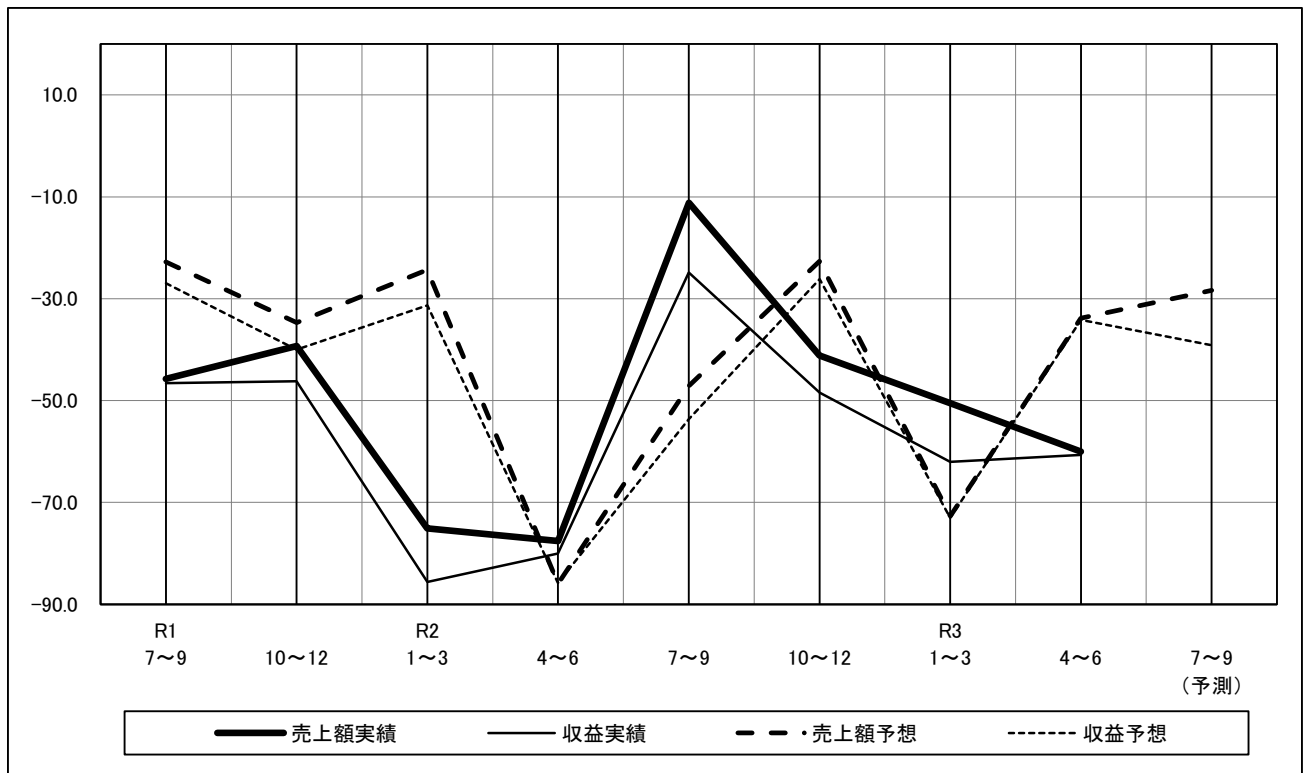
来期の見通し

業況(△69→△59)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小すると予想されている。

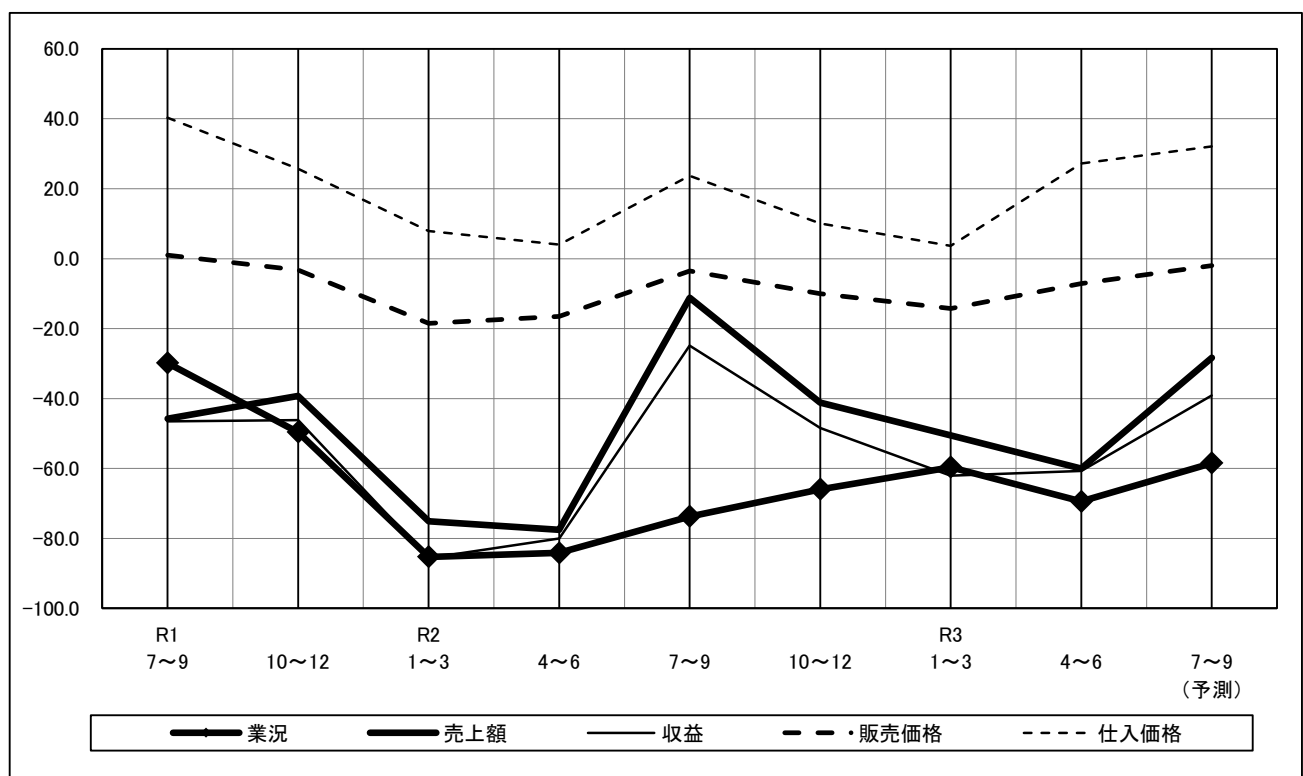
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



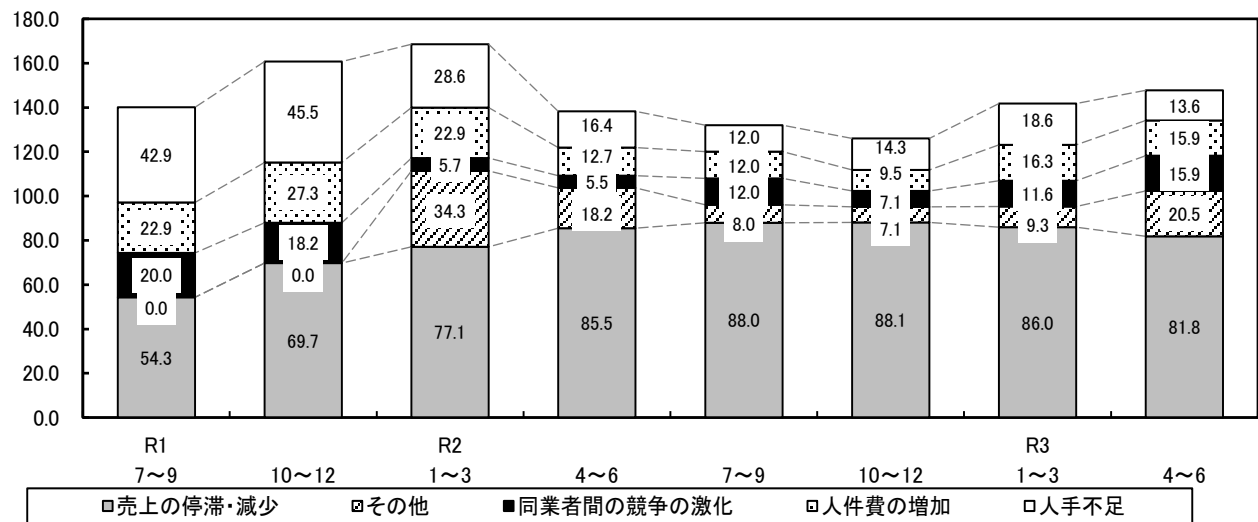
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

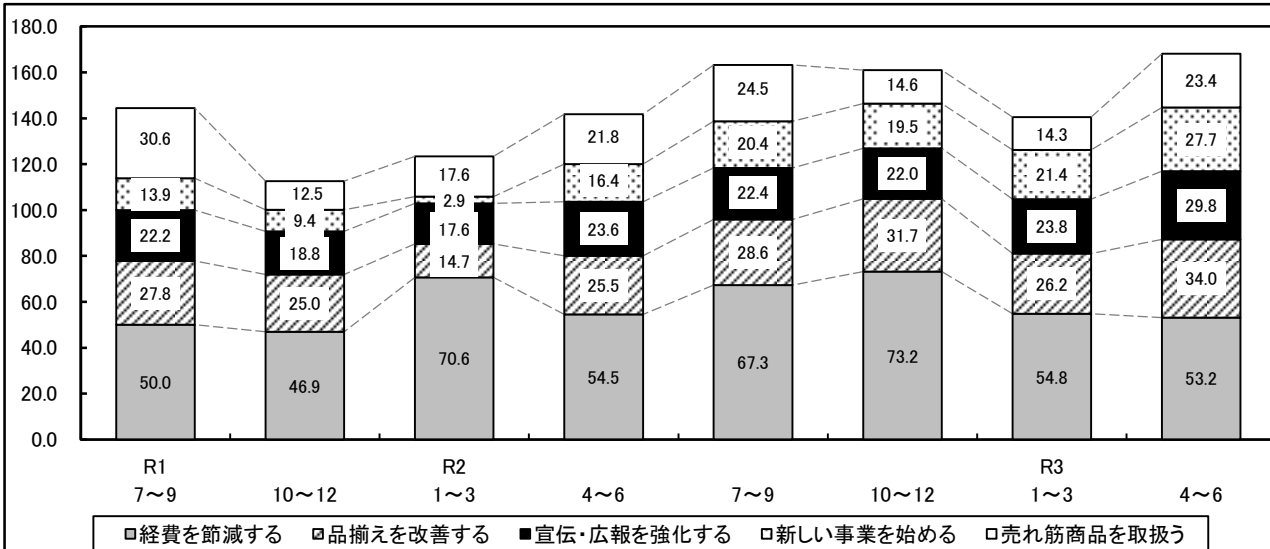


〈小売業〉 経営上の問題点（％）



	R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期		R3.4~6月期	
第1位	売上停滞・減少	88.0 %	売上停滞・減少	88.1 %	売上停滞・減少	86.0 %	売上停滞・減少	81.8 %
第2位	利幅の縮小	32.0 %	商店街の集客力の低下	31.0 %	利幅の縮小	25.6 %	その他	20.5 %
第3位	商店街の集客力の低下	18.0 %	利幅の縮小	23.8 %	人手不足	18.6 %	同業者間の競争の激化	15.9 %
	商圏人口の減少	18.0 %						
第4位	人手不足	12.0 %	取引先の減少	16.7 %	人件費の増加	16.3 %	人手不足	13.6 %
	人件費の増加	12.0 %						
	同業者間の競争の激化	12.0 %						
第5位	天候の不順	10.0 %	人手不足	14.3 %	同業者間の競争の激化	11.6 %	利幅の縮小	11.4 %
	取引先の減少	10.0 %						
					取引先の減少	11.6 %		
					商店街の集客力の低下	11.6 %		

〈小売業〉 重点経営施策（％）



	R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期		R3.4~6月期	
第1位	経費を節減する	67.3 %	経費を節減する	73.2 %	経費を節減する	54.8 %	経費を節減する	53.2 %
第2位	品揃えを改善する	28.6 %	品揃えを改善する	31.7 %	品揃えを改善する	26.2 %	品揃えを改善する	34.0 %
第3位	売れ筋商品を取扱う	24.5 %	宣伝・広報を強化する	22.0 %	宣伝・広報を強化する	23.8 %	宣伝・広報を強化する	29.8 %
第4位	宣伝・広報を強化する	22.4 %	新しい事業を始める	19.5 %	新しい事業を始める	21.4 %	新しい事業を始める	27.7 %
第5位	新しい事業を始める	20.4 %	商店街事業を活性化させる	17.1 %	店舗・設備を改装する	14.3 %	売れ筋商品を取扱う	23.4 %
					営業時間を延長する	14.3 %		
					売れ筋商品を取扱う	14.3 %		

(1) 飲食料品

業況(△11→△40)は低調感が極端に強まった。売上額(△30→△51)、収益(△26→△60)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(△27→△24)は下降傾向がやや弱まり、仕入価格(6→18)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△32→△17)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△76→△79)は低調感がやや強まった。売上額(△52→△62)は減少幅がかなり拡大し、収益(△68→△54)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(△7→4)は上昇に転じ、仕入価格(11→47)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△32→△25)は厳しさがかなり和らいだ。

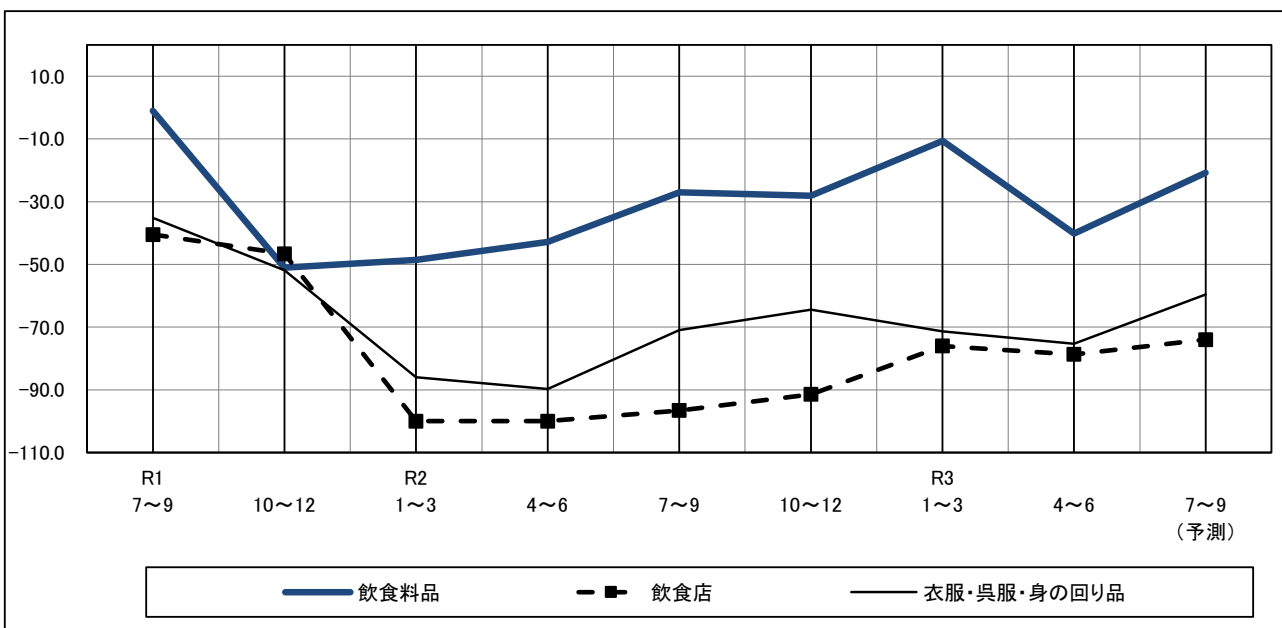
来期の業況はやや改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△71→△75)は低調感がやや強まった。売上額(△61→△66)は減少幅がやや拡大し、収益(△76→△74)は減少幅がやや縮小した。販売価格(△19→△13)は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格(△11→9)は上昇に転じた。資金繰り(△48→△50)は厳しさがやや増した。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

＜飲食料品＞

1. 新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなることを願う。
2. 畜肉相場高騰のため、仕入コストのアップで収益を大きく圧迫。デベロッパーが店舗閉鎖のため売上を圧迫。このままでは非常に緊迫せざるを得ない。
3. 店舗前のスーパーがなくなり売上減少。
4. 売上、利幅とも減少している。
5. 経費削減に努めているが、人手がないとできない商売だと限界がある。取引先が戻ってくれなければどうにもならない。

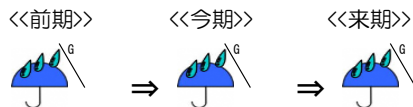
＜飲食店＞

1. 飲食店ですが、アルコールなしのインパクトがかなり強く、イートイン客がかなり減った。まだまだ先は見えませんが、行政の指示に従いながらも増収増益を目指したい。
2. 時短営業、特にアルコールの規制により売上の大幅減。
3. 来店者が増え、増収増益が続いている。
4. 国内各地とイギリスのクラフトビールやサイダーを取り扱っているが、コンセプトが似る店舗が続々と増え続けている。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響により売上低下。リモートワークによるワーカーの減少、宴会消失。
6. 新型コロナウイルス感染症拡大が終息するまでは集客ができない。感染を最大限防ぎながら収支バランスをとっていくしかない。
7. 新型コロナウイルス感染症で営業時間短縮や酒類が出せないことで売上が激減。
8. 新型コロナウイルス感染症が収まらない。来店客が増えない。減収減益が続いている。
9. 酒類の提供ができないことで、来店数が激減しており、打つ手がない。
10. 時短営業の要請、テレワーク拡大により売上減少傾向。
11. 新型コロナウイルス感染症のせいで商売ができない。

＜衣服・呉服・身の回り品＞

1. 緊急事態宣言の影響が強く、製品が全く出なくなり、収益がほぼゼロの状況。これが更に続くと廃業に追い込まれる見通し。
2. 再三再四の新型コロナウイルス感染症拡大による影響でアパレル業界の売れ筋商品の不足、消費意欲の停滞が続いている。
3. 取引先の閉店が増えた。
4. 路面店のため、緊急事態宣言の下、来店客が極端に減り売上が出来ない状態である。オリンピック開催により雰囲気は昂揚すれば売上に繋がるのではないかと期待している。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響が酷すぎる。
6. 前年が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたため。同期の売上額は増加傾向。ただしECへの転換がマーケットに強く出ているため、新型コロナウイルス感染症の終息後も店頭小売は厳しいのではないかと。
7. 競合他社との値引きがひどく、利益確保が難しい。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 60 \rightarrow \Delta 57$) はやや改善した。売上額 ($\Delta 42 \rightarrow \Delta 38$) は減少幅がやや縮小し、収益 ($\Delta 49 \rightarrow \Delta 42$) は減少幅がかなり縮小した。
 なお、全都と比較した当区の業況は 23 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格 ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 10$) は下降傾向がやや弱まり、材料価格 ($10 \rightarrow 13$) は上昇傾向がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 30 \rightarrow \Delta 25$) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 ($\Delta 2 \rightarrow 1$) は好転した。今期借入れをした企業は 32% で前期の 34% から 2 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

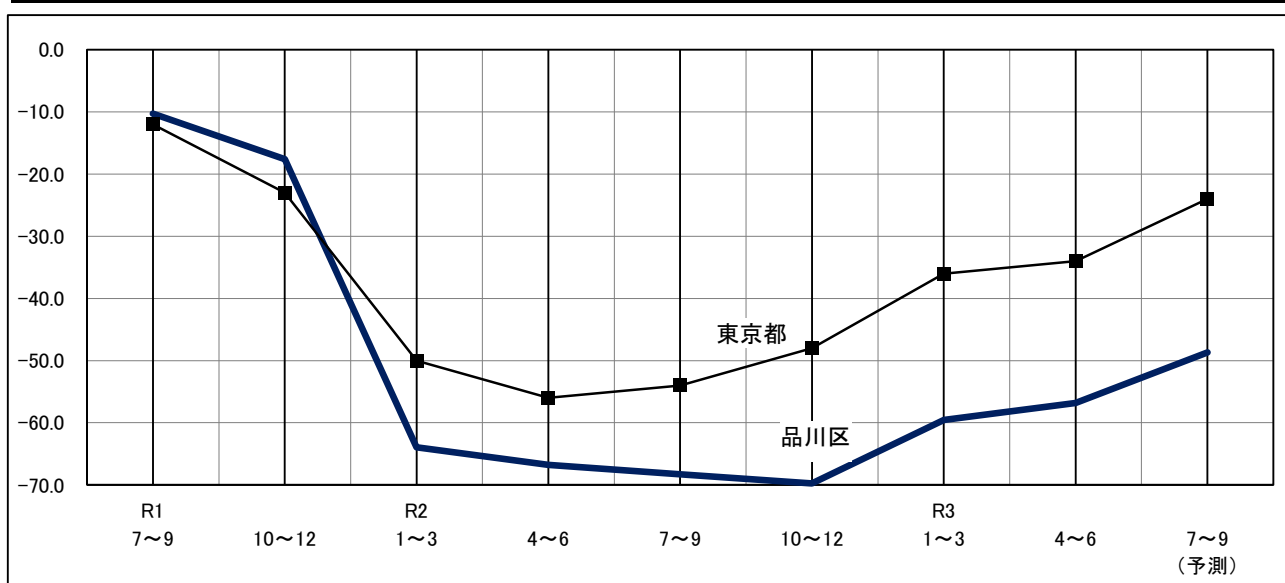
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 60%、2 位は「人手不足」が 31%、3 位は「人件費の増加」が 21% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1 位は「経費を削減する」が 45%、2 位は「販路を広げる」が 37%、3 位は「人材を確保する」が 36% となった。前期 2 位だった「経費を節減する」が、今期 1 位と順位を上げたが、上位の項目には入替がなかった。

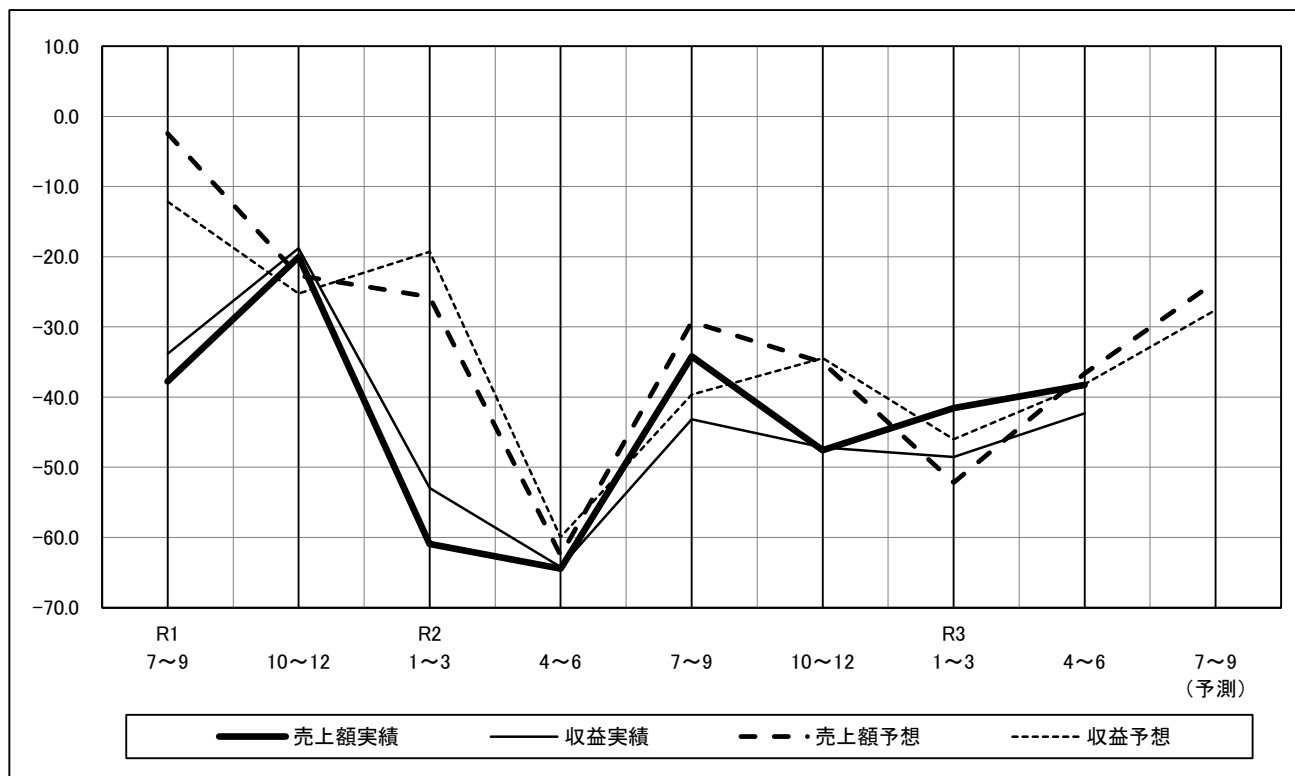
来期の見通し

業況 ($\Delta 57 \rightarrow \Delta 49$) はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

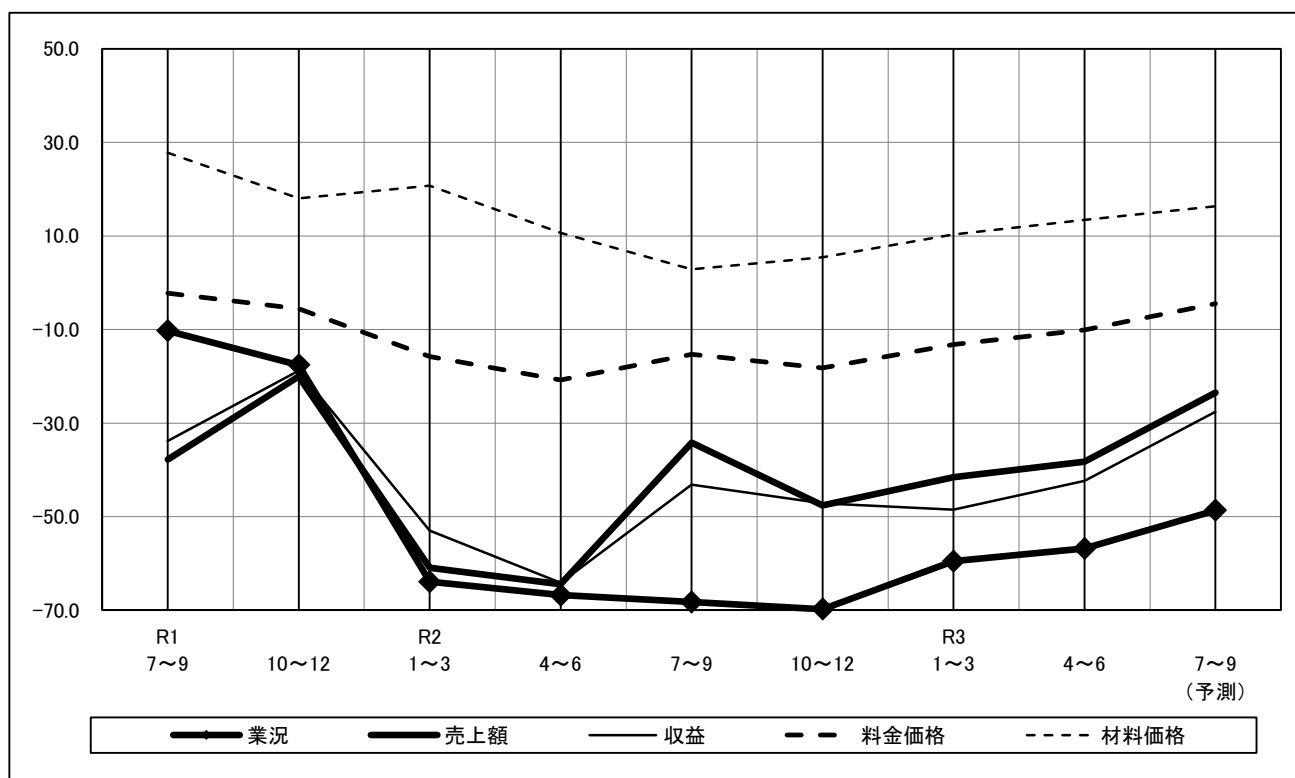
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



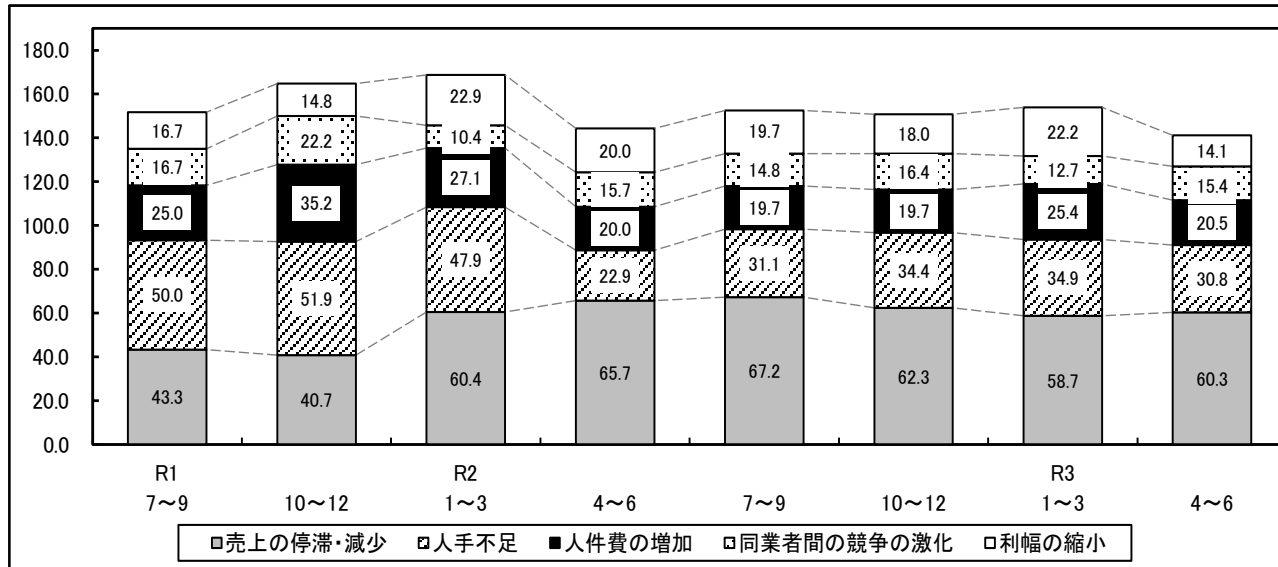
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

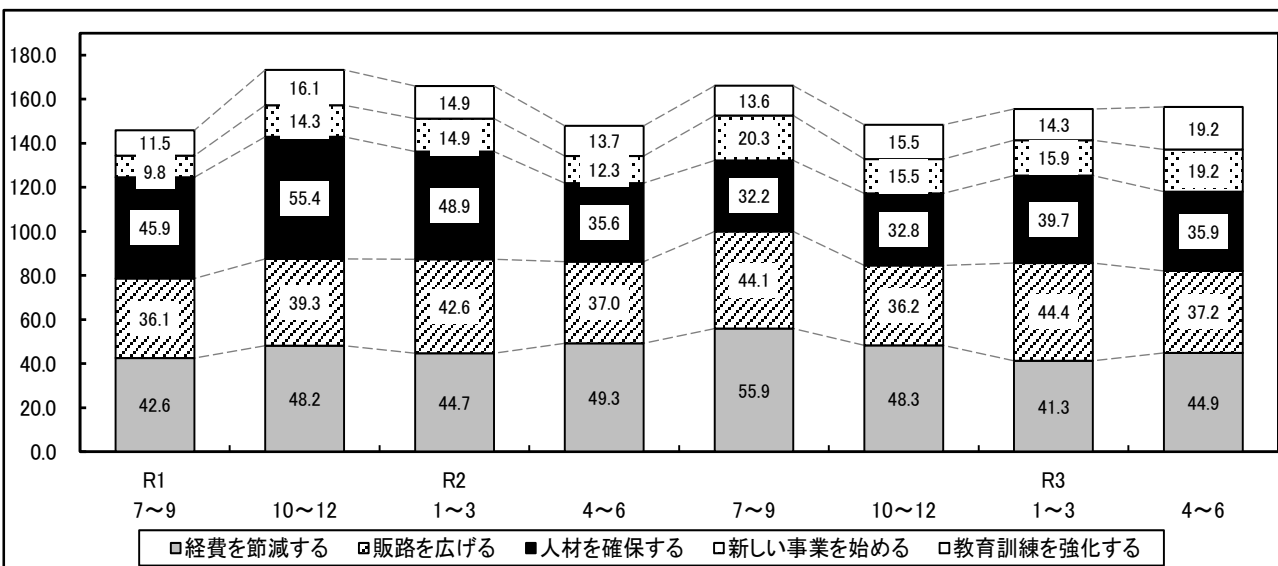


〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期		R3.4~6月期	
第1位	売上停滞・減少	67.2 %	売上停滞・減少	62.3 %	売上停滞・減少	58.7 %	売上停滞・減少	60.3 %
第2位	人手不足	31.1 %	人手不足	34.4 %	人手不足	34.9 %	人手不足	30.8 %
第3位	利幅の縮小	19.7 %	人件費の増加	19.7 %	人件費の増加	25.4 %	人件費の増加	20.5 %
	人件費の増加	19.7 %						
第4位	同業者間の競争の激化	14.8 %	利幅の縮小	18.0 %	利幅の縮小	22.2 %	同業者間の競争の激化	15.4 %
第5位	取引先の減少	13.1 %	同業者間の競争の激化	16.4 %	取引先の減少	17.5 %	利幅の縮小	14.1 %

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期		R3.4~6月期	
第1位	経費を節減する	55.9 %	経費を節減する	48.3 %	販路を広げる	44.4 %	経費を節減する	44.9 %
第2位	販路を広げる	44.1 %	販路を広げる	36.2 %	経費を節減する	41.3 %	販路を広げる	37.2 %
第3位	人材を確保する	32.2 %	人材を確保する	32.8 %	人材を確保する	39.7 %	人材を確保する	35.9 %
第4位	新しい事業を始める	20.3 %	技術力を強化する	17.2 %	技術力を強化する	20.6 %	新しい事業を始める	19.2 %
							教育訓練を強化する	19.2 %
第5位	技術力を強化する	15.3 %	新しい事業を始める	15.5 %	新しい事業を始める	15.9 %	技術力を強化する	17.9 %
			教育訓練を強化する	15.5 %				

サービス業 業種別コメント

1. 材料費や水道ガスの値上り、人件費の増加。
2. 売上の減少。
3. 店舗が狭小なので新店舗を出したい。
4. サラリーマンが減少したため、マーケットを都心から郊外へ移し、出店を目指す。
5. 来店客が減少している。宣伝広告を強化して対応努力。
6. 年配の方が多いので、新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えている。
7. 新型コロナウイルス感染症の影響が大です。
8. 売上及びサービス向上に努めているが、価格が国から設定されており反映できず、人件費も上がっている。
9. 最悪な状態が続いている。
10. 売上額が下降ぎみであり、市場が縮小している。
11. ゴルフ場の来場者は新型コロナウイルス感染症で増加している。
12. 来客者の減少が止まらない。政府の新型コロナウイルス感染症後の政策に期待。
13. 新型コロナウイルス感染症の影響で派遣先だった飲食店やホテル清掃が契約終了していたが、少しずつ回復傾向にあるようで案件としては入り始めている。ただオリンピック含め見通し不明のため、受注にはまだ至らない。
14. 新型コロナウイルス感染症による客先の経営悪化が影響している。
15. 主要顧客の業界別格差が激しい。病院、介護業界では日常業務のオプション（殺菌業務等）が増えている。宿泊業界は未だ閑散としており、スタッフの待機が続いている。雇用調整助成金がなくなると雇用維持が難しくなる。
16. 経費削減に努めているが、材料費や仕入れ費用が値上がりしている。
17. 新型コロナウイルス感染症による影響を受けることはなく安定しているが、業務増加に伴った雇用の拡大と、その人件費との兼ね合いが難しい。
18. 得意先等が新型コロナウイルス感染症の影響が長引いているため、しばらくは売上停滞が続く見込み。
19. 新型コロナウイルス感染症で新規顧客の開拓の機会は減少したが、従前の取引先との関係は堅調であることで現状維持している。
20. 先月の5月が売上低下の底と思われるが、売上の回復は9月以降と思われる。人材不足は恒常的で厳しい。
21. 昨年と比べて売上利益ともに回復しつつあるが、6月まではイベント中止や延期が発生したため、予測と比べて大幅に減少。7月の東京オリンピック開催以降は、大規模イベントなど開催できる見込みが期待できるため、今後は安定していくと思われる。
22. イベント業につき、新型コロナウイルス感染症の影響が甚大。
23. 経費削減に努めているが、材料費や仕入れ費用が値上がりしている。
24. 相変わらず仕事がない。
25. 受注残が増えて、今期の業績は計画達成できる見込み。
26. 景気感が鈍り、設備投資が遅れているので、売上に結びつかない。ペンディング業務が多く見られる。
27. 新型コロナウイルス感染症の影響大きく、先行きが全く不透明。
28. 大口取引先との取引拡大と合わせて、他の取引先の掘り起こしを行っているが、後者についてはやや苦戦している。
29. 助成金を活用しつつパートナー強化を図り、生き残りをかけビジネス継続に努める。
30. コロナ禍で予約での接客をしているがキャンセルが出る。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 51 \rightarrow \Delta 42$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 38 \rightarrow \Delta 32$) は減少幅がかなり縮小し、施工高 ($\Delta 32 \rightarrow \Delta 36$)、収益 ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 41$) はともに減少幅がやや拡大した。

価格・在庫動向

請負価格 ($\Delta 32 \rightarrow \Delta 17$) は下降傾向がかなり弱まり、材料価格 (19→34) は上昇傾向がかなり強まった。在庫 (0→7) は過剰に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 21 \rightarrow \Delta 26$) は厳しさがやや増し、借入難易度 ($\Delta 6 \rightarrow \Delta 3$) はやや改善した。今期借入れをした企業は 36% で前期の 34% から 2 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

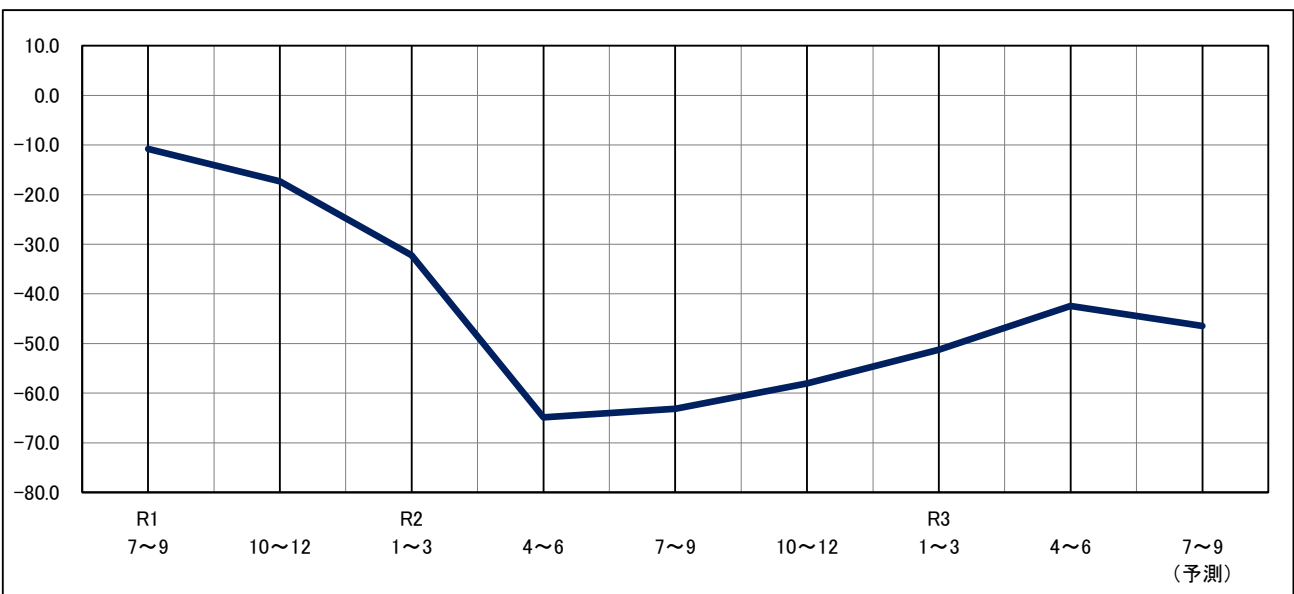
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 54%、2 位は「利幅の縮小」が 39%、3 位は「人手不足」が 32% となった。前期 3 位だった「利幅の縮小」が、今期 2 位と順位を上げたが、上位の項目には入替がなかった。

重点経営施策は、1 位は「人材を確保する」が 40%、2 位は「販路を広げる」と「経費を節減する」が 39%、3 位は「技術力を高める」が 31% となった。前期 4 位だった「経費を削減する」が、今期 2 位と順位を上げたが、他の上位の項目には入替がなかった。

来期の見通し

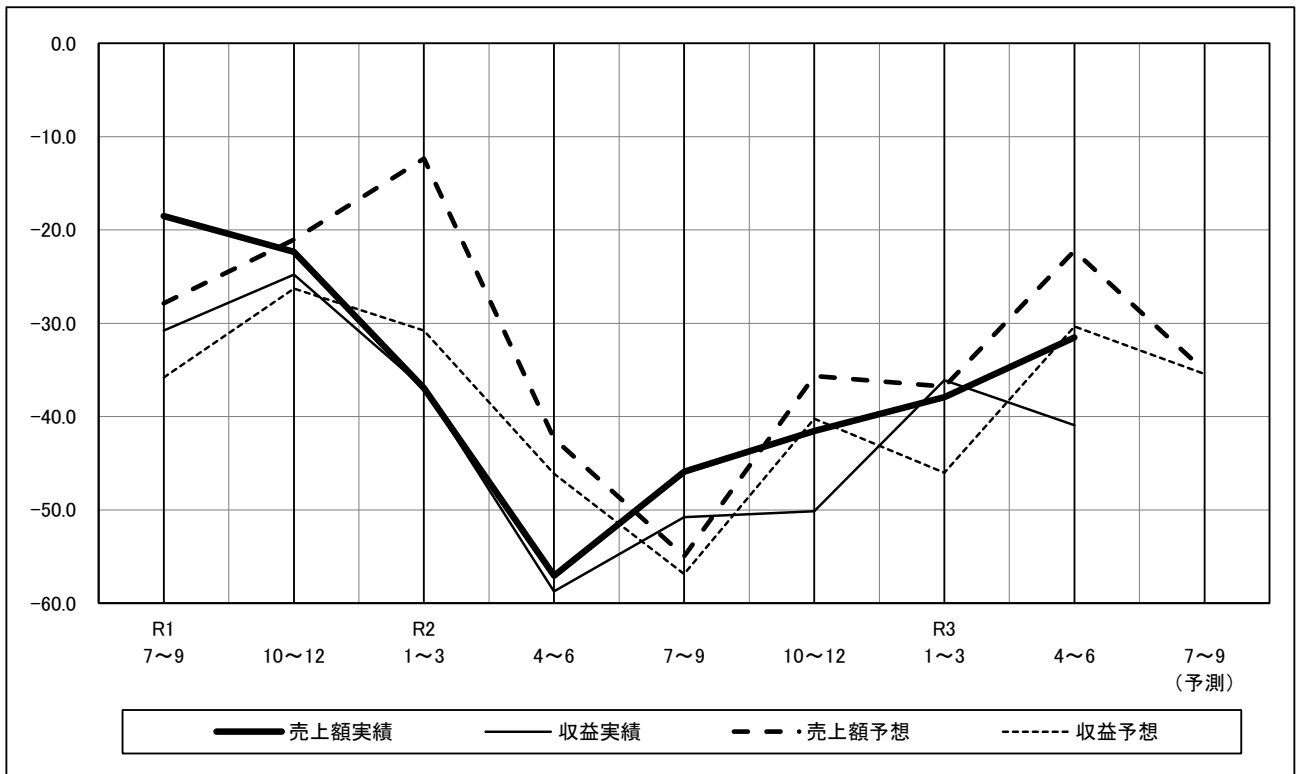
業況 ($\Delta 42 \rightarrow \Delta 46$) は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がやや拡大し、収益は減少幅がかなり縮小すると予想されている。

〈建設業〉 品川区の業況の動き（実績）と来期の予測

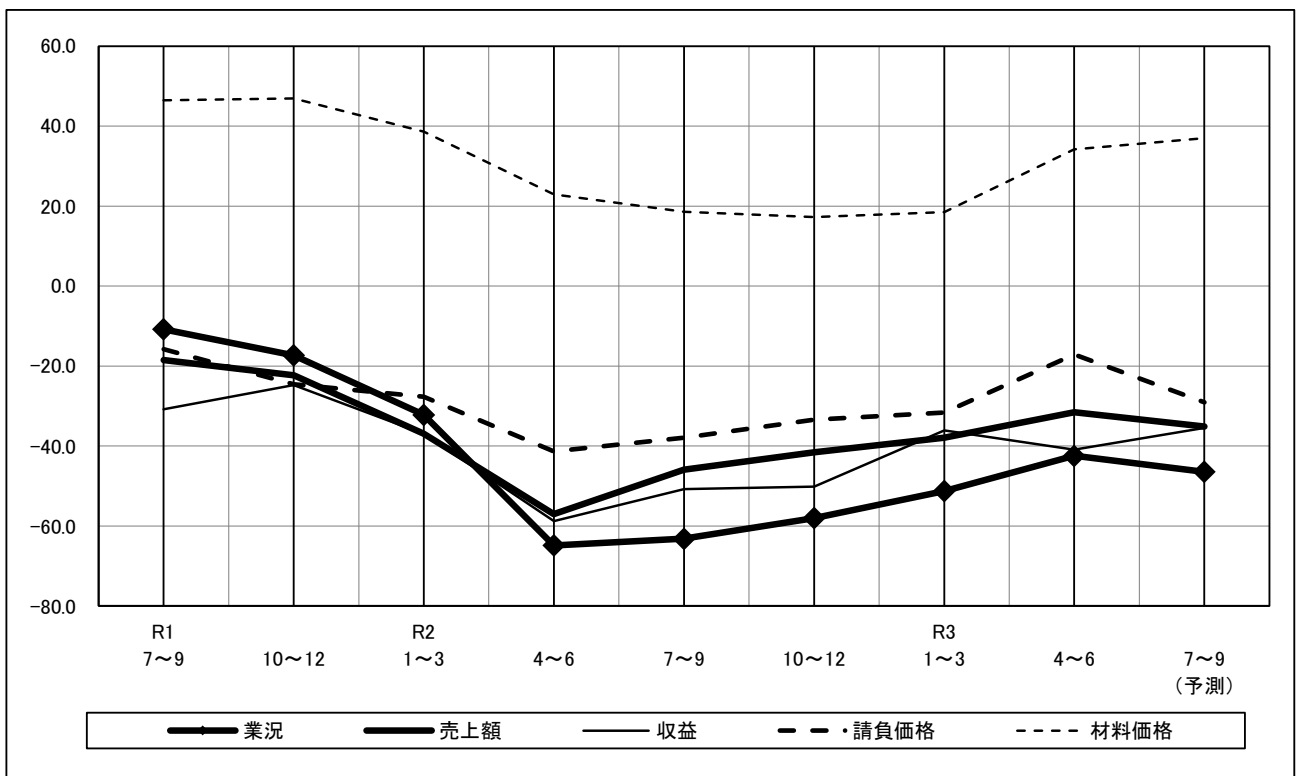


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

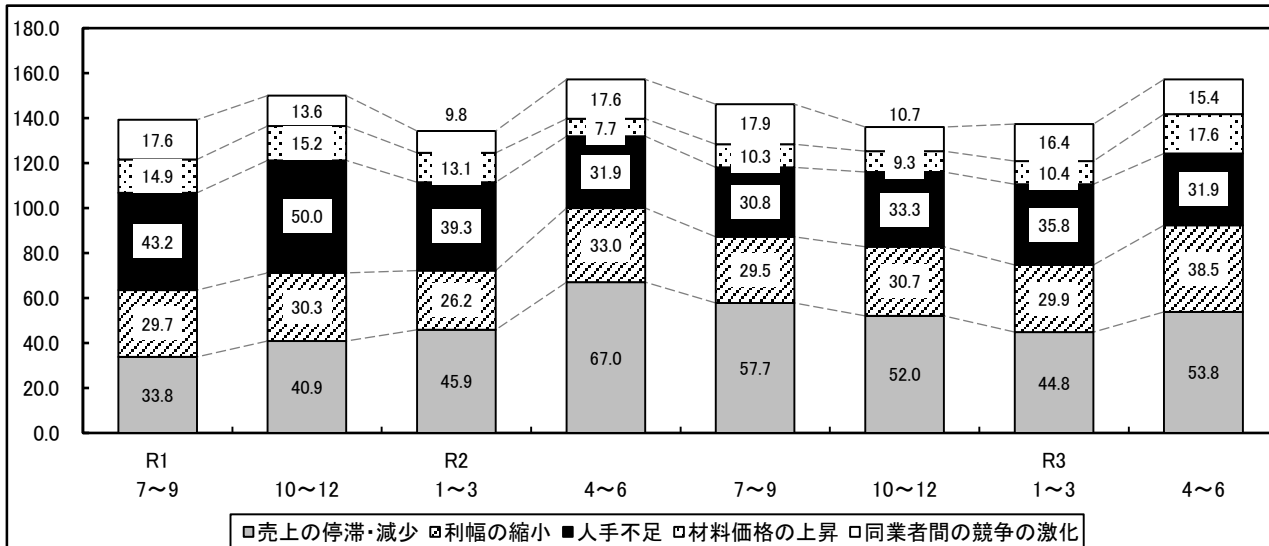
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

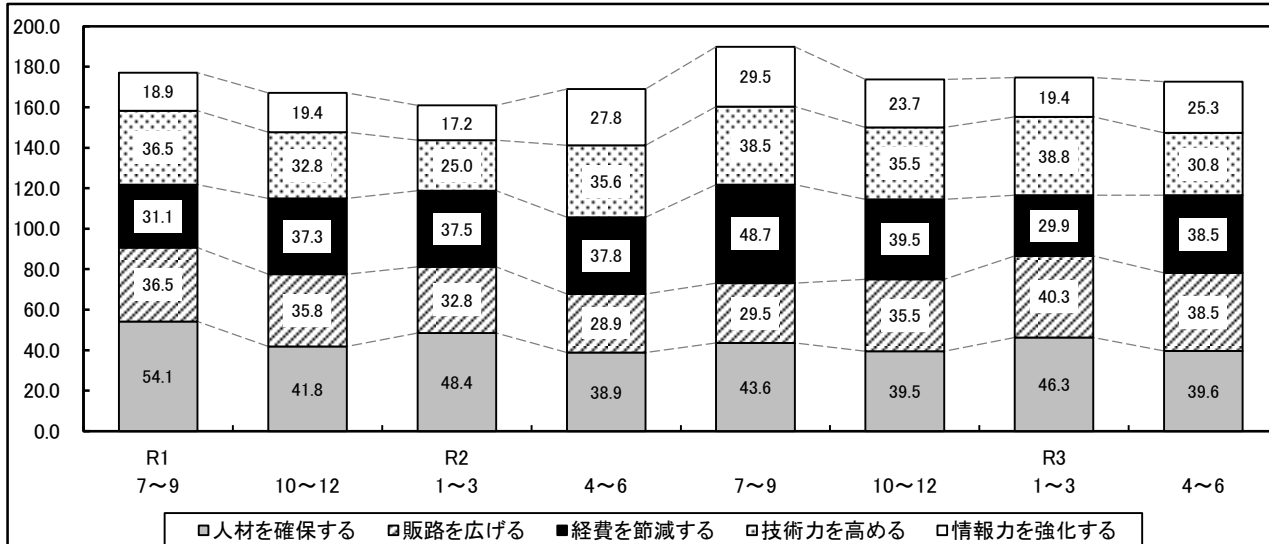


〈建設業〉 経営上の問題点（％）



	R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期	
第1位	売上上の停滞・減少	57.7 %	売上上の停滞・減少	52.0 %	売上上の停滞・減少	44.8 %	売上上の停滞・減少	53.8 %
第2位	人手不足	30.8 %	人手不足	33.3 %	人手不足	35.8 %	利幅の縮小	38.5 %
第3位	利幅の縮小	29.5 %	利幅の縮小	30.7 %	利幅の縮小	29.9 %	人手不足	31.9 %
第4位	下請の確保難	21.8 %	下請の確保難	21.3 %	下請の確保難	25.4 %	材料価格の上昇	17.6 %
第5位	同業者間の競争の激化	17.9 %	技術力の不足	18.7 %	人件費の増加	17.9 %	同業者間の競争の激化	15.4 %

〈建設業〉 重点経営施策（％）



	R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期	
第1位	経費を節減する	48.7 %	経費を節減する	39.5 %	人材を確保する	46.3 %	人材を確保する	39.6 %
第2位	人材を確保する	43.6 %	人材を確保する	39.5 %	販路を広げる	40.3 %	販路を広げる	38.5 %
第3位	技術力を高める	38.5 %	技術力を高める	35.5 %	経費を節減する	29.9 %	経費を節減する	38.5 %
第4位	販路を広げる	29.5 %	販路を広げる	35.5 %	技術力を高める	38.8 %	技術力を高める	30.8 %
第5位	情報力を強化する	29.5 %	情報力を強化する	23.7 %	情報力を強化する	19.4 %	情報力を強化する	25.3 %
第5位	労働条件を改善する	12.8 %	労働条件を改善する	11.8 %	労働条件を改善する	11.8 %	労働条件を改善する	9.9 %
			新しい事業を始める	11.8 %				
			教育訓練を強化する	10.5 %	教育訓練を強化する	10.5 %	教育訓練を強化する	9.9 %
			特になし	10.5 %	特になし		特になし	9.9 %

建設業 業種別コメント

1. そのまま人手不足。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響で、一般家庭の仕事がほとんどなくなってしまった。
3. 受注の見込みがあるので堅実に業務を続けたい。
4. 現場が少なくなり経営上借入をしたいが、先が見えず返済に自信が無い。コロナ禍が過ぎるまでひたすら耐えるしか無い。
5. スーパーゼネコンへの監督派遣業務なので変化なし。本来の下請業務（大工・測量）は現在行っていない。
6. まとまった大きな現場がなく一般ユーザーが多いので、代金回収、収益率は高い。受注に対してスタッフ不足で十分対応できていない。
7. 売上が減少傾向である。
8. 夏までは物件も減少していて売上減少。秋以降、大型物件が予想される。
9. 新規顧客の確保が難しい。売上につながらない。
10. 新型コロナウイルス感染症の影響で受注が減少し、売上が大きく減少している。
11. 仕事はあるが人手不足。
12. 店舗、テナント工事にて受注量が低下傾向と考える。新型コロナウイルス感染症、オリンピック以降の建設業景気に不安であり、利幅の少ない受注も検討して売上に繋げる。
13. 売上減少。
14. 新型コロナウイルス感染症で不景気のため、取引先の設備投資が減少し、リモートによる就業（または学習）のため、売上減少傾向。
15. 現在ではそれ程変化がないように思うが、今後が全く予想できない。
16. 仕事の減少。
17. コロナ問題で悪循環。利益が出る環境は程遠い。資金繰りが厳しい。
18. 徐々に需要が増え、増収増益になりそう。
19. 応募がないため人手不足で受注を増やせなくなっている。
20. 以前より仕事量が減ってきている。この間に働き方改革を進める。
21. 収益の減少により工事事務所の縮小予定。
22. 大型工事受注につき要員不足。
23. 受注減でも人手がかかるので人手不足。
24. 人手不足。技術力を高める。
25. 新型コロナウイルス感染症、オリンピック後の受注が不安。
26. 受注件数が伸び悩みである。
27. 有能な人材が足りない。
28. 前期は大きな影響がなかったが、今期以降コロナ禍による売上減が予想される。
29. 技術社員の退職により人材不足の状況が続いている。そのため、受注を増やしたくても増やせないのが現状。
30. 外注費の上昇に比べ、受注額は変わらない。
31. 人材不足により人件費の上げ止まりが改善されず、利益率が減少している。
32. 新型コロナウイルス感染症の影響もまだ続いている。テナントの空き、空調の使用も減っているので交換も遅れている。
33. コロナ禍で予定の仕事の着手が遅れている。少し厳しい状態。
34. コロナ禍で飲食関係の設備業にて店舗の関係役所より締めつけで辞める店が出て、新規設備どころではないので受注なし。
35. 受注増が見込まれるが、外注に苦慮している。
36. ハローワークに申し込みをするも、人手確保出来ず。
37. 飲食店の閉店などがあり、現場数が減り、売上も減少している。

日銀短観

[調査対象企業数]

(2021年6月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,888社	5,519社	9,407社	99.2%
うち大企業	986社	886社	1,872社	99.0%
中堅企業	1,013社	1,628社	2,641社	99.1%
中小企業	1,889社	3,005社	4,894社	99.4%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2020年度			2021年度		
		上期		下期	上期		下期
円/ドル	2021年3月調査	106.66	107.00	106.32	106.07	106.04	106.10
	2021年6月調査	106.82	107.04	106.61	106.71	106.70	106.71
円/ユーロ	2021年3月調査	121.76	121.06	122.47	123.10	123.09	123.11
	2021年6月調査	122.58	121.25	123.90	125.27	125.28	125.26

[業況判断]

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	2021年3月調査		2021年6月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	5	4	14	9	13	-1
非製造業	-1	-1	1	2	3	2
全産業	2	2	8	6	8	0
中堅企業						
製造業	-2	-6	5	7	-1	-6
非製造業	-11	-12	-8	3	-8	0
全産業	-8	-9	-3	5	-5	-2
中小企業						
製造業	-13	-12	-7	6	-6	1
非製造業	-11	-16	-9	2	-12	-3
全産業	-12	-15	-8	4	-10	-2
全規模合計						
製造業	-6	-7	2	8	0	-2
非製造業	-9	-12	-7	2	-9	-2
全産業	-8	-10	-3	5	-5	-2

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2020年度		2021年度	
		修正率		(計画)	
大企業	製造業	-7.8	0.5	6.0	3.9
	国内	-7.2	0.3	4.8	2.9
	輸出	-9.0	0.9	8.5	5.9
	非製造業	-9.0	-0.3	0.4	-1.6
全産業	-8.5	0.0	2.7	0.7	
中堅企業	製造業	-6.4	0.6	5.9	2.2
	非製造業	-6.9	1.0	2.8	0.9
	全産業	-6.8	0.9	3.6	1.2
中小企業	製造業	-7.7	1.0	4.0	1.6
	非製造業	-7.0	1.0	1.7	0.7
	全産業	-7.2	1.0	2.2	0.9
全規模合計	製造業	-7.6	0.6	5.6	3.2
	非製造業	-7.9	0.4	1.4	-0.3
	全産業	-7.8	0.5	2.8	0.9

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2021年3月調査		2021年6月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-26	-27	-21	5	-21	0
	うち素材業種	-28	-29	-23	5	-23	0
	加工業種	-24	-25	-18	6	-19	-1
	非製造業	-25	-26	-22	3	-22	0
海外での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-18	-18	-9	9	-10	-1
	うち素材業種	-22	-24	-12	10	-13	-1
	加工業種	-17	-14	-8	9	-9	-1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	13		10	-3		
	うち素材業種	13		9	-4		
	加工業種	13		11	-2		
	非製造業	16		8	-8		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	18		10	-8		
	うち素材業種	14		7	-7		
	加工業種	14		7	-7		
	非製造業	18		25	7	28	3
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	0	2	5	5	8	3
	うち素材業種	6	10	15	9	19	4
	加工業種	-5	-4	-2	3	1	3
	非製造業	-5	-4	-1	4	0	1
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	29	36	43	14	45	2
	うち素材業種	35	39	49	14	47	-2
	加工業種	24	33	39	15	43	4
	非製造業	18	21	25	7	28	3

東京都と品川区の企業倒産動向（令和3年6月）

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和2年6月	令和3年5月	令和3年6月	前月比	前年同月比
件数	119	103	102	▲1	▲17
金額	210	1,217	113	▲1,104	▲97

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

放漫経営		過小資本		他社倒産の余波		既往のしわ寄せ		販売不振	
5	2.2	2	1.2	5	2.6	17	52.2	71	52.0
売掛金回収難		信用性低下		在庫状態悪化		設備投資過大		その他	
0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	1	0.1

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

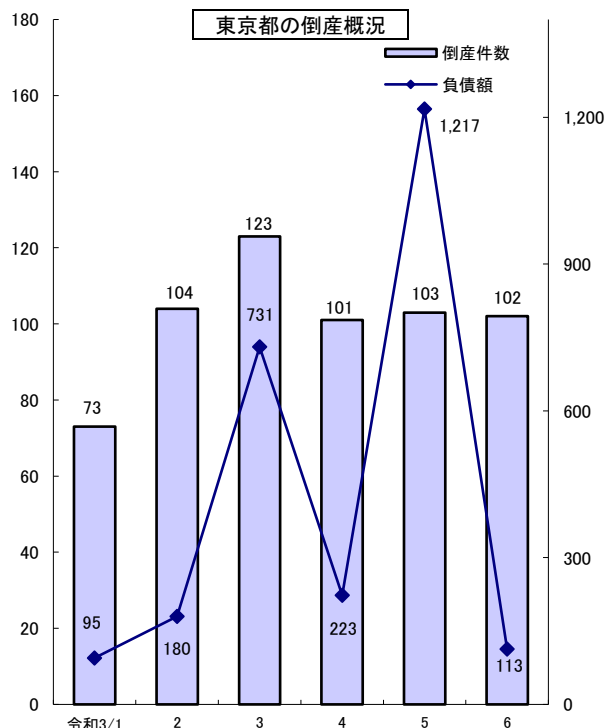
	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	9	8	6	22	70	29
卸売業	28	20	18	31	34	18
小売業	6	9	15	7	3	6
サービス業	25	25	8	67	15	4
建設業	8	13	15	7	12	19
不動産業	11	7	6	21	9	12
情報通信業・運輸業	16	8	15	17	65	14
宿泊業・飲食サービス業	10	9	12	37	1,009	10
その他	6	4	7	1	1	2
合計	119	103	102	210	1,217	113

4. 品川区内の令和3年6月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	2件	120百万円
小売業	0件	0百万円
サービス業	0件	0百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	1件	22百万円
情報通信業・運輸業	2件	50百万円
宿泊業・飲食サービス業	0件	0百万円
その他	0件	0百万円
合計	5件	192百万円

(件数)

(億円)



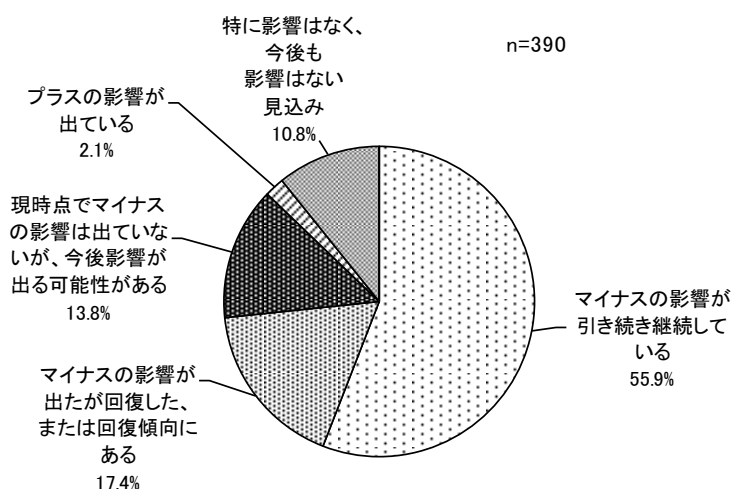
特別調査「新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響について」

- ① 新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響については、「マイナスの影響が引き続き継続している」が55.9%で最多
- ② 具体的な影響内容については、「製品・サービスの受注・売上減少」が70.2%で最多
- ③ 事業継続上の懸念事項等については、「先行き不透明により計画の策定が困難」が50.8%で最多
- ④ 利用した支援策については、「持続化給付金（国）」が58.9%で最多
- ⑤ 行政に期待する支援については、「資金面での支援制度の拡充」が53.2%で最多

問1. 新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響

新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響については、全体では「マイナスの影響が引き続き継続している」が55.9%で最も多く、次いで「マイナスの影響が出たが回復した、または回復傾向にある」が17.4%、「現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」が13.8%となった。

業種別では、建設業を除いた他の業種で、「マイナスの影響が引き続き継続している」に回答が集中し、建設業では、「現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」が最も高くなっている。「特に影響はなく、今後も影響はない見込み」と回答した割合が高い業種は、サービス業が15.4%、建設業が14.3%、製造業が12.2%となり、他の業種では1割に満たなかった。なお、「マイナスの影響が引き続き継続している」と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の78.3%、最も少ないのは建設業の31.9%で、業種間の差は46.4ポイントとなっている。



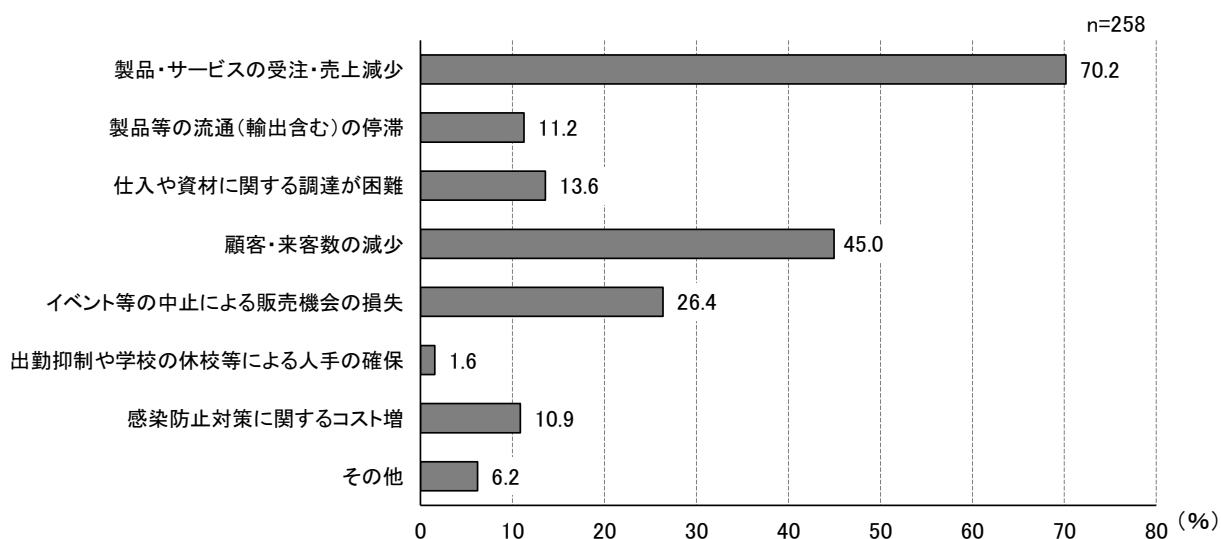
(単位：%)

	マイナスの影響が引き続き継続している	マイナスの影響が出たが回復した、または回復傾向にある	現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある	プラスの影響が出ている	特に影響はなく、今後も影響はない見込み
全 体 (390) 件	55.9	17.4	13.8	2.1	10.8
製 造 業 (82) 件	62.2	15.9	9.8	0.0	12.2
卸 売 業 (93) 件	62.4	18.3	7.5	4.3	7.5
小 売 業 (46) 件	78.3	15.2	6.5	0.0	0.0
サービス業 (78) 件	56.4	17.9	7.7	2.6	15.4
建 設 業 (91) 件	31.9	18.7	33.0	2.2	14.3

問2. 具体的な影響内容

具体的な影響内容については、全体では「製品・サービスの受注・売上減少」が 70.2%と最も多く、次いで「顧客・来客数の減少」が 45.0%、「イベント等の中止による販売機会の損失」が 26.4%となった。

業種別では、小売業を除いた他の業種で、「製品・サービスの受注・売上減少」に回答が集中し、小売業では、「顧客・来客数の減少」が最も高くなっている。さらに、小売業では「イベント等の中止による販売機会の損失」が 41.0%と唯一 4 割を超え、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



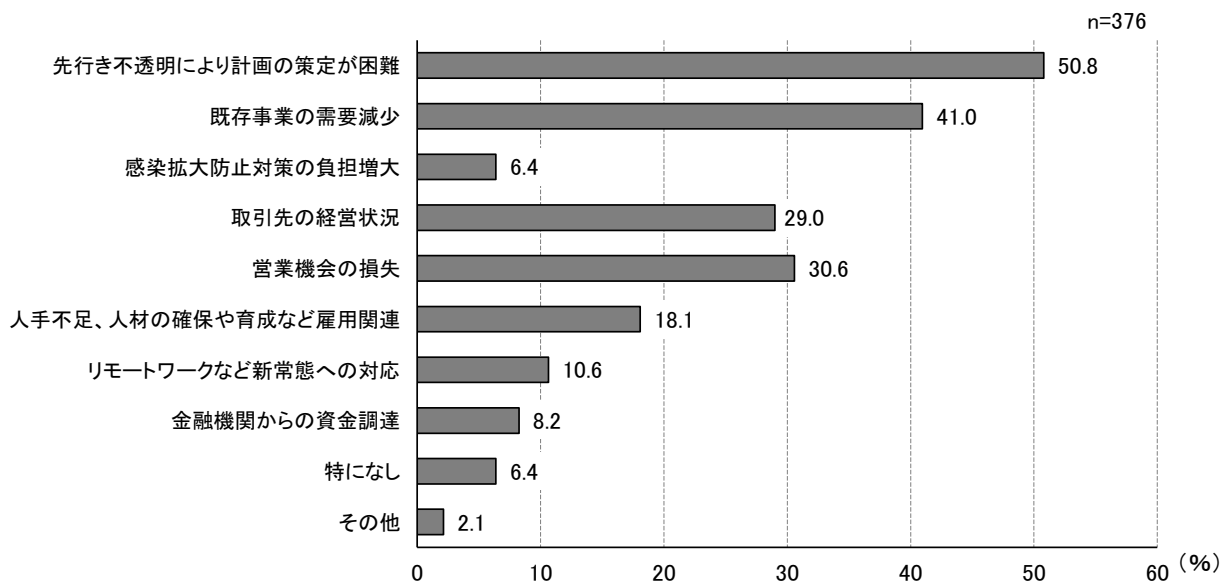
(単位：%)

	製品・サービスの受注・売上減少	製品等の流通(輸出含む)の停滞	仕入や資材に関する調達が困難	顧客・来客数の減少	イベント等の中止による販売機会の損失	出勤抑制や学校の休校等による人手の確保	感染防止対策に関するコスト増	その他
全 体 (258) 件	70.2	11.2	13.6	45.0	26.4	1.6	10.9	6.2
製 造 業 (56) 件	83.9	19.6	16.1	25.0	28.6	0.0	3.6	7.1
卸 売 業 (63) 件	82.5	11.1	19.0	52.4	27.0	1.6	6.3	1.6
小 売 業 (39) 件	53.8	10.3	5.1	84.6	41.0	2.6	20.5	7.7
サービス業 (49) 件	65.3	6.1	10.2	44.9	32.7	2.0	18.4	4.1
建 設 業 (51) 件	56.9	7.8	13.7	27.5	5.9	2.0	9.8	11.8

問3. 事業継続上の懸念事項等

事業継続上の懸念事項等については、「先行き不透明により計画の策定が困難」が 50.8%と最も多く、次いで「既存事業の需要減少」が 41.0%、「営業機会の損失」が 30.6%と続いた。

業種別では、すべての業種において「先行き不透明により計画の策定が困難」に回答が集中していることを示す結果となった。また、卸売業においては「営業機会の損失」が 44.0%、サービス業と建設業では「人手不足、人材の確保や育成など雇用関連」が 2 割超と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



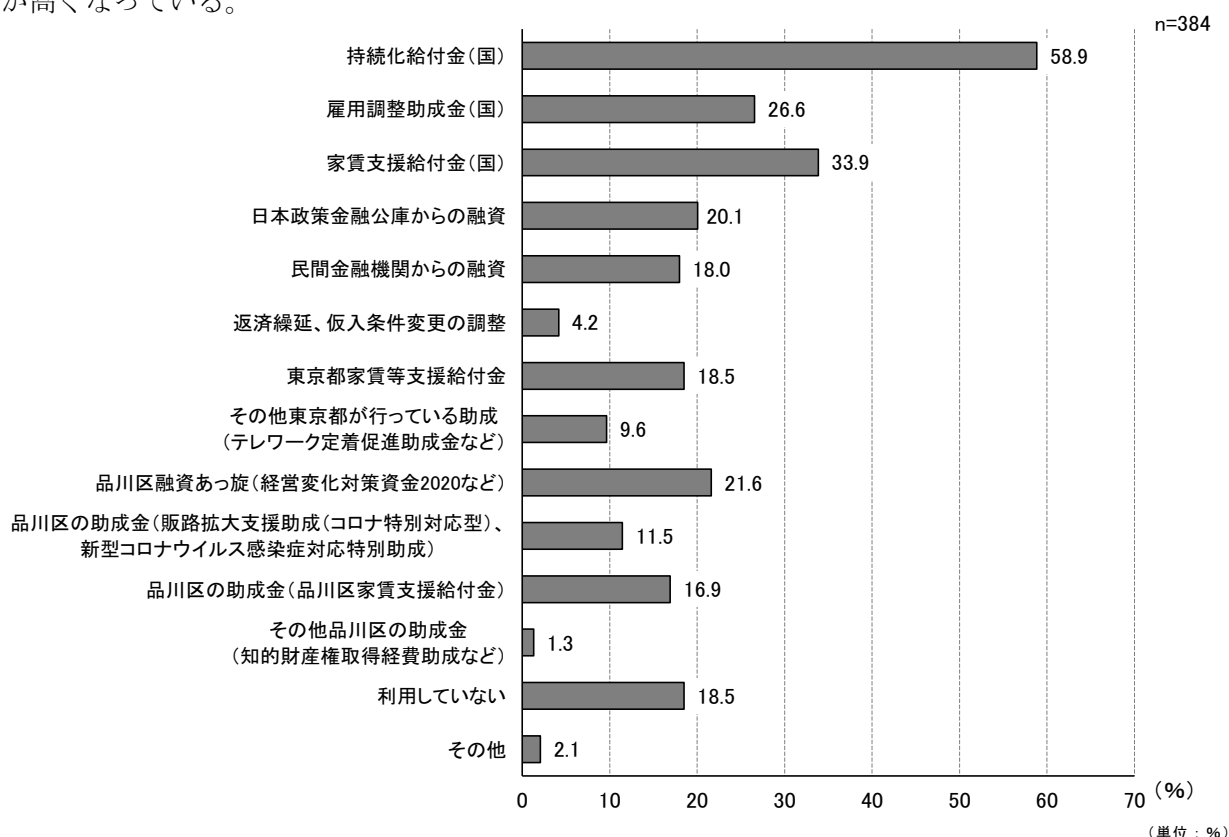
(単位: %)

	先行き不透明により計画の策定が困難	既存事業の需要減少	感染拡大防止対策の負担増大	取引先の経営状況	営業機会の損失	人手不足、人材の確保や育成など雇用関連	リモートワークなど新常態への対応	金融機関からの資金調達	特になし	その他
全 体 (376) 件	50.8	41.0	6.4	29.0	30.6	18.1	10.6	8.2	6.4	2.1
製 造 業 (79) 件	51.9	48.1	0.0	30.4	31.6	15.2	5.1	12.7	10.1	3.8
卸 売 業 (91) 件	50.5	46.2	4.4	39.6	44.0	7.7	19.8	9.9	4.4	1.1
小 売 業 (43) 件	74.4	46.5	18.6	18.6	32.6	11.6	2.3	11.6	7.0	2.3
サービス業 (78) 件	51.3	32.1	10.3	26.9	25.6	25.6	15.4	1.3	2.6	0.0
建 設 業 (85) 件	37.6	34.1	4.7	23.5	18.8	28.2	5.9	7.1	8.2	3.5

問4. 利用した支援策

利用した支援策については、「持続化給付金（国）」が 58.9%と割合が最も多く、次いで「家賃支援給付金（国）」が 33.9%、「雇用調整助成金（国）」が 26.6%と続いた。

すべての業種において「持続化給付金（国）」に回答が集中していることを示す結果となった。回答割合が最も多いのは小売業の 84.4%、最も少ないのはサービス業の 42.9%で、業種間の差は 41.5 ポイントとなった。また、小売業では全体と比較して「家賃支援給付金（国）」が 53.3%、「日本政策金融公庫からの融資」が 42.2%、「民間金融機関からの融資」と「東京都家賃等支援給付金」が 3 割超と、回答割合が高くなっている。



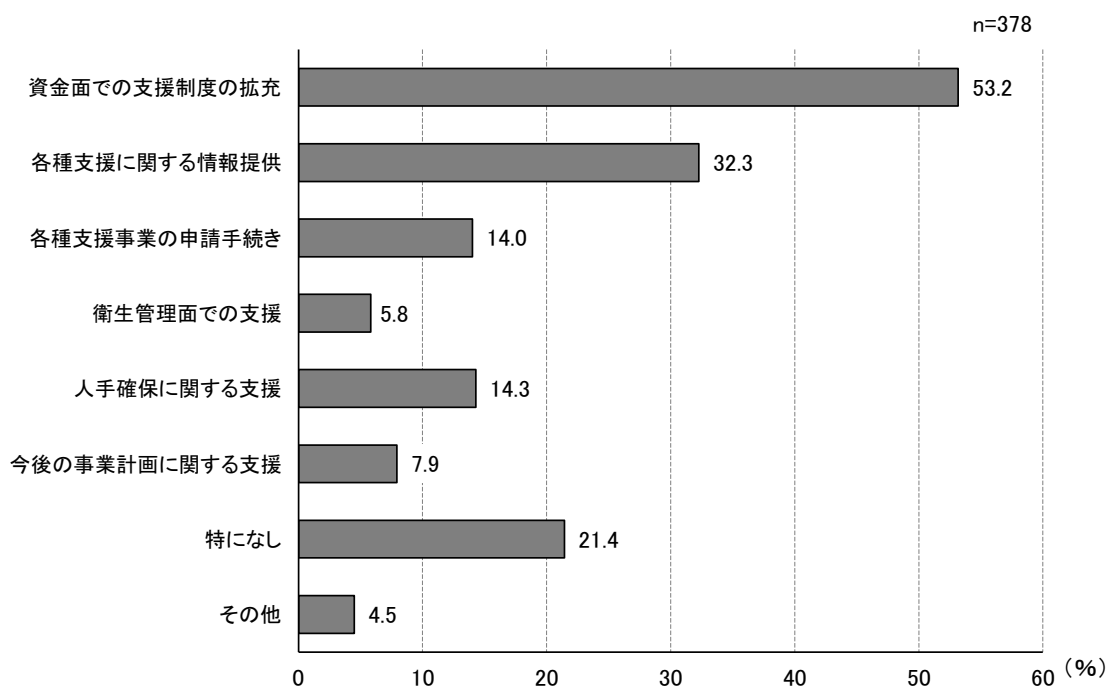
	持続化給付金 (国)	雇用調整助成金 (国)	家賃支援給付金 (国)	日本政策金融公庫 からの融資	民間金融機関からの 融資	返済繰延、仮入条 件変更の調整	東京都家賃等支援 給付金
全 体 (384) 件	58.9	26.6	33.9	20.1	18.0	4.2	18.5
製 造 業 (80) 件	60.0	31.3	31.3	18.8	12.5	5.0	13.8
卸 売 業 (91) 件	51.6	22.0	28.6	19.8	18.7	2.2	18.7
小 売 業 (45) 件	84.4	37.8	53.3	42.2	31.1	8.9	31.1
サービス業 (77) 件	42.9	33.8	27.3	16.9	20.8	5.2	16.9
建 設 業 (91) 件	65.9	15.4	37.4	13.2	13.2	2.2	17.6

その他東京都が 行っている助成 (テレワーク定着 促進助成金など)	品川区融資あつ旋 (経営変化対策資 金2020など)	品川区の助成金 (販路拡大支援助 成(コロナ特別対 応型)、新型コロ ナウイルス感染症 対応特別助成)	品川区の助成金 (品川区家賃支援 給付金)	その他品川区の 助成金 (知的財産権取得 経費助成など)	利用していない	その他
9.6	21.6	11.5	16.9	1.3	18.5	2.1
5.0	28.8	10.0	18.8	1.3	13.8	5.0
11.0	22.0	6.6	18.7	1.1	24.2	1.1
13.3	15.6	28.9	24.4	0.0	6.7	0.0
16.9	20.8	14.3	14.3	3.9	26.0	2.6
4.4	18.7	6.6	12.1	0.0	16.5	1.1

問5. 行政に期待する支援

行政に期待する支援については、「資金面での支援制度の拡充」が 53.2%と割合が最も多く、次いで「各種支援に関する情報提供」が 32.3%、「人手確保に関する支援」が 14.3%と続いた。また、「特になし」が 21.4%となっている。

業種別にみると、すべての業種において「資金面での支援制度の拡充」に回答が集中していることを示す結果となった。回答割合が最も多いのは製造業の 61.5%、最も少ないのはサービス業の 47.4%で、業種間の差は 14.1 ポイントとなった。なお、小売業については「各種支援に関する情報提供」が 44.2%と、他業種に比べ高い割合となっている。

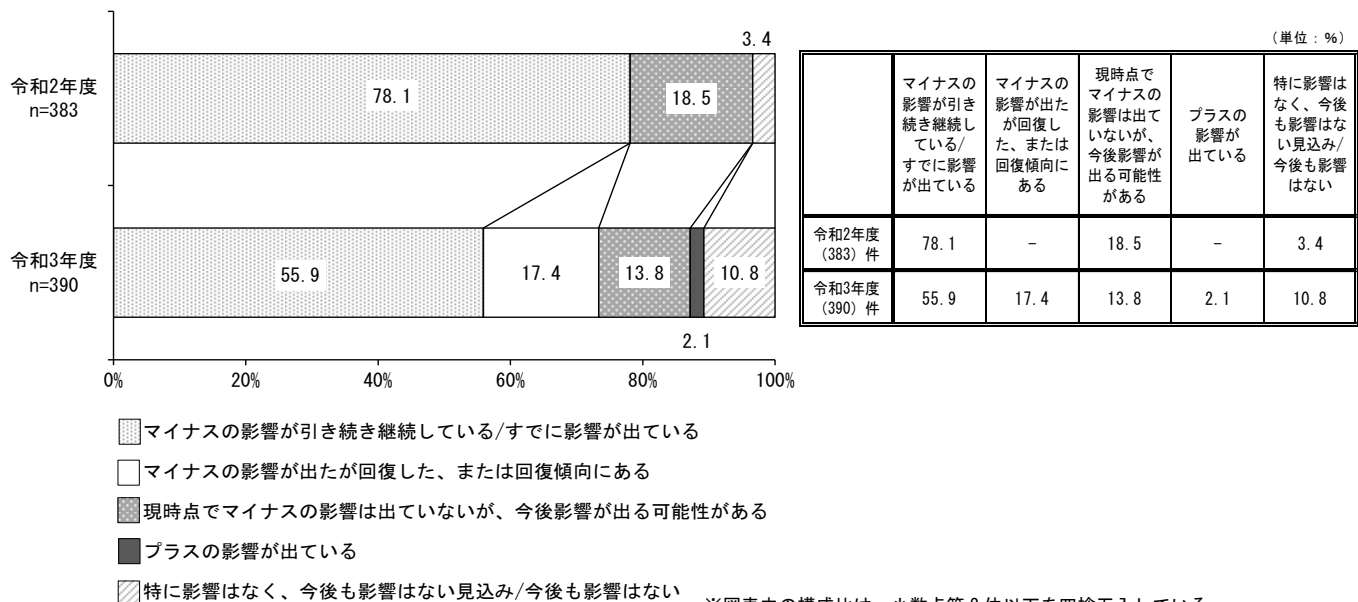


(単位：%)

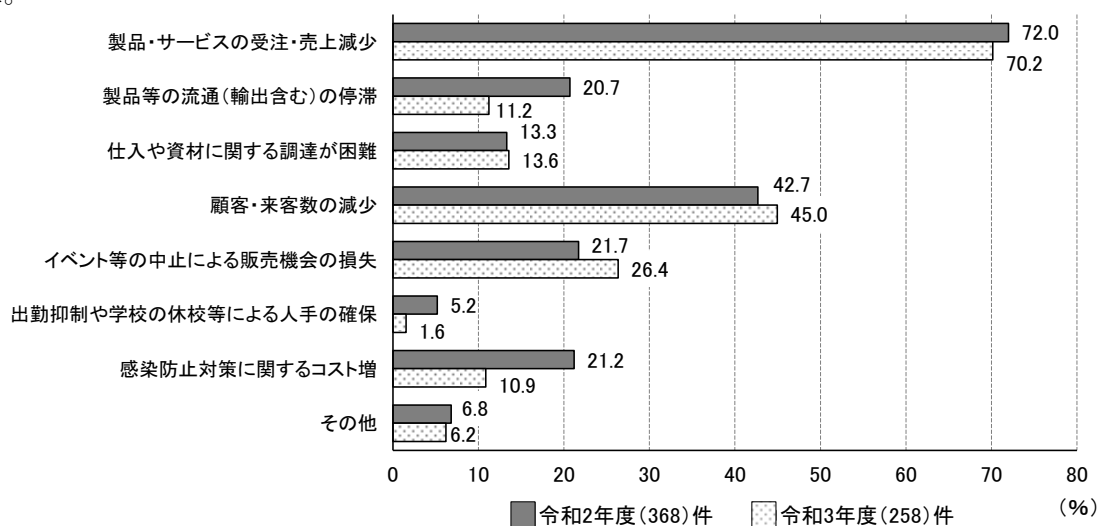
	資金面での支援制度の拡充	各種支援に関する情報提供	各種支援事業の申請手続き	衛生管理面での支援	人手確保に関する支援	今後の事業計画に関する支援	特になし	その他
全 体 (378) 件	53.2	32.3	14.0	5.8	14.3	7.9	21.4	4.5
製 造 業 (78) 件	61.5	23.1	10.3	1.3	10.3	7.7	17.9	6.4
卸 売 業 (91) 件	51.6	36.3	12.1	2.2	11.0	5.5	22.0	6.6
小 売 業 (43) 件	60.5	44.2	20.9	18.6	14.0	18.6	16.3	7.0
サービス業 (78) 件	47.4	29.5	19.2	10.3	15.4	6.4	26.9	1.3
建 設 業 (88) 件	48.9	33.0	11.4	3.4	20.5	6.8	21.6	2.3

新型コロナウイルス感染症による影響について、令和2年度第1・四半期調査(令和2年4～6月)との比較

新型コロナウイルス感染症による影響について、1年前の令和2年度第1・四半期調査と比較したところ、「マイナスの影響が引き続き継続している/すでに影響が出ている」と回答した割合は、令和2年度の78.1%から55.9%と22.2ポイント減少した。「現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」と回答した割合は減少し、「特に影響はなく、今後も影響はない見込み/今後も影響はない」と回答した割合は増加となっている。



具体的な影響内容については、「顧客・来客数の減少」、「イベント等の中止による販売機会の損失」、「仕入や資材に関する調達が困難」と回答した割合が令和2年度より増加し、他の項目については減少となった。



行政に期待する支援については、「各種支援に関する情報提供」と回答した割合が令和2年度より約10ポイント減少し、「人手確保に関する支援」と回答した割合はやや増加した。また、「特になし」と回答した割合は約5ポイント増加となった。

(単位: %)

	資金面での支援制度の拡充	各種支援に関する情報提供	各種支援事業の申請手続き	人手確保に関する支援	特になし	その他
令和2年度(362)件	72.0	20.7	13.3	42.7	21.7	5.2
令和3年度(378)件	70.2	11.2	13.6	45.0	26.4	1.6

※令和2年度と一致している選択肢のみ記載。

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和3年4月～6月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-59	-42	-76	-63	-59	-60
売上額		-39	5	-48	-58	-58	-52
受注残		-36	5	-50	-54	-56	-35
収益		-36	5	-60	-58	-59	-34
販売価格		-18	0	-17	-31	-24	-32
原材料価格		39	42	55	-8	44	58
原材料在庫		-2	6	3	-9	-12	1
資金繰り		-37	-32	-28	-31	-69	-30
雇用	残業時間	-27	-14	0	-60	-38	-29
	人手	1	-14	0	33	-19	14
同期比	売上額	-32	0	-41	0	-69	-33
	収益	-33	-10	-65	7	-75	-27
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	80	70	83	93	93	62
	②工場・機械の狭小・老朽化	19	15	22	13	27	15
	③利幅の縮小	28	20	28	47	40	8
	④同業者間の競争の激化	9	0	6	27	7	8
	⑤人手不足	11	20	17	7	0	8
重点経営施策	①経費を節減する	50	33	50	57	56	60
	②販路を広げる	56	52	50	71	63	47
	③情報力を強化する	19	14	11	43	19	13
	④新製品・技術を開発する	26	24	39	14	38	13
	⑤人材を確保する	23	33	28	7	31	7
借入の難易度		-7	0	11	-14	-27	-13

[来期の景況見通し]

業況		-54	-39	-62	-90	-77	-20
売上額		-38	-20	-32	-62	-67	-44
受注残		-33	-3	-37	-43	-67	-32
収益		-45	-13	-35	-79	-79	-49
販売価格		-19	-1	-20	-27	-29	-29
原材料価格		42	46	67	-17	41	66
原材料在庫		-1	0	4	-4	-6	-8
資金繰り		-44	-11	-45	-64	-76	-38
雇用	残業時間	-24	-14	6	-60	-44	-13
	人手	2	-19	-6	47	-6	7

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小 売 業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和3年4月～6月期

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-69	-40	-79	-75
売上額		-60	-51	-62	-66
収益		-61	-60	-54	-74
販売価格		-7	-24	4	-13
仕入価格		27	18	47	9
在庫		19	35	5	26
資金繰り		-31	-17	-25	-50
雇用	残業時間	-34	-20	-46	-27
	人手	0	-10	5	0
同期比	売上額	-28	-30	-27	-27
	収益	-34	-40	-27	-40
	販売価格	-6	0	5	-27
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	82	78	76	93
	②商店街の集客力の低下	9	0	10	14
	③利幅の縮小	11	11	5	21
	④取引先の減少	14	44	5	7
	⑤人手不足	14	22	19	0
重点経営施策	①経費を節減する	53	50	55	53
	②品揃えを改善する	34	30	14	67
	③宣伝・広報を強化する	30	10	41	27
	④新しい事業を始める	28	50	23	20
	⑤商店街事業を活性化させる	6	20	0	7
借入の難易度		-13	-20	-9	-14

[来期の景況見通し]

業況		-59	-21	-74	-60
売上額		-28	-21	-32	-29
収益		-39	-19	-47	-39
販売価格		-2	-7	-2	-1
仕入価格		32	14	46	27
在庫		18	29	1	31
資金繰り		-28	-5	-22	-51
雇用	残業時間	-28	-20	-36	-20
	人手	2	-10	9	0

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		対	R3
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		前期比	7～9月期
業況	良い	12.0	14.3	17.7	12.0	17.7	12.7	10.5	11.3	5.3	3.5	10.0	4.1	16.7	5.1	8.3	10.3		11.1
	普通	26.7	33.3	25.3	33.3	19.4	39.2	10.5	16.1	7.9	14.1	17.5	13.5	23.1	19.0	21.4	28.2		18.5
	悪い	61.3	52.4	57.0	54.7	62.9	48.1	79.1	72.6	86.8	82.4	72.5	82.4	60.3	75.9	70.2	61.5		70.4
	D・I	-49.3	-38.1	-39.2	-42.7	-45.2	-35.4	-68.6	-61.3	-81.6	-78.8	-62.5	-78.4	-43.6	-70.9	-61.9	-51.3		-59.3
	修正値	-43.1	-34.4	-40.5	-44.6	-48.6	-36.5	-64.9	-59.1	-78.1	-75.4	-63.0	-77.9	-48.5	-71.5	-59.1	-52.2	-11.0	-53.6
	傾向値	-21.1		-27.6		-36.0		-45.5		-54.6		-61.6		-64.3		-63.2			
売上額	増加	16.2	18.4	27.8	18.7	17.7	11.4	11.6	6.5	10.4	5.9	30.4	19.7	24.4	15.2	14.3	15.4		17.1
	変らず	23.0	31.0	19.0	30.7	25.8	39.2	9.3	27.4	11.7	22.4	19.0	14.5	17.9	25.3	21.4	33.3		20.7
	減少	60.8	50.6	53.2	50.7	56.5	49.4	79.1	66.1	77.9	71.8	50.6	65.8	57.7	59.5	64.3	51.3		62.2
	D・I	-44.6	-32.2	-25.3	-32.0	-38.7	-38.0	-67.4	-59.7	-67.5	-65.9	-20.3	-46.1	-33.3	-44.3	-50.0	-35.9		-45.1
	修正値	-38.8	-28.5	-33.3	-36.7	-42.6	-40.1	-58.5	-52.7	-63.2	-62.5	-31.4	-49.7	-38.3	-47.4	-38.5	-30.1	0.0	-38.4
	傾向値	-19.3		-25.9		-32.2		-39.6		-46.9		-49.1		-47.8		-45.0			
受注残	増加	12.5	18.6	14.3	12.3	6.5	5.1	11.6	4.8	9.2	5.9	18.8	16.0	21.8	10.1	13.3	11.5		18.1
	変らず	31.9	39.5	40.3	38.4	43.5	48.7	16.3	43.5	23.7	23.5	30.0	28.0	21.8	32.9	32.5	34.6		26.5
	減少	55.6	41.9	45.5	49.3	50.0	46.2	72.1	51.6	67.1	70.6	51.3	56.0	56.4	57.0	54.2	53.8		55.4
	D・I	-43.1	-23.3	-31.2	-37.0	-43.5	-41.0	-60.5	-46.8	-57.9	-64.7	-32.5	-40.0	-34.6	-46.8	-41.0	-42.3		-37.3
	修正値	-39.8	-19.3	-32.6	-37.8	-47.2	-39.9	-54.9	-46.7	-54.2	-61.1	-35.7	-40.7	-39.9	-46.1	-35.6	-43.5	4.0	-33.0
	傾向値	-24.9		-28.8		-33.1		-40.6		-46.4		-48.4		-47.5		-43.9			
収益	増加	12.3	14.9	17.9	18.7	14.5	9.0	10.5	11.3	10.4	8.3	23.8	18.4	17.9	14.1	14.3	11.5		13.3
	変らず	20.5	31.0	25.6	30.7	27.4	39.7	11.6	29.0	18.2	17.9	16.3	15.8	20.5	25.6	23.8	21.8		21.7
	減少	67.1	54.0	56.4	50.7	58.1	51.3	77.9	59.7	71.4	73.8	60.0	65.8	61.5	60.3	61.9	66.7		65.1
	D・I	-54.8	-39.1	-38.5	-32.0	-43.5	-42.3	-67.4	-48.4	-61.0	-65.5	-36.3	-47.4	-43.6	-46.2	-47.6	-55.1		-51.8
	修正値	-48.9	-35.9	-45.5	-36.8	-48.2	-44.4	-58.5	-43.1	-55.7	-60.4	-44.5	-50.4	-48.0	-48.2	-35.9	-52.7	12.0	-44.7
	傾向値	-26.1		-33.2		-41.4		-48.1		-51.8		-52.3		-52.1		-49.6			
価格動向	販売価格	-12.2	-19.5	-6.3	-14.9	-13.1	-12.7	-20.9	-6.6	-20.8	-15.3	-13.8	-19.7	-28.2	-18.8	-20.2	-26.9		-20.5
	修正値	-11.9	-16.7	-10.1	-16.9	-15.2	-14.0	-16.5	-9.7	-18.4	-11.5	-16.3	-19.1	-28.3	-18.4	-18.3	-27.9	10.0	-19.2
	傾向値	-10.2		-9.5		-10.4		-12.2		-14.2		-16.2		-19.0		-20.8			
	原材料価格	29.7	41.4	32.9	36.5	27.4	20.3	3.5	23.0	13.2	8.2	8.8	18.7	29.5	13.8	42.9	41.0		48.2
	修正値	32.1	39.9	36.3	38.0	27.4	26.5	5.2	23.5	14.3	7.7	10.1	17.3	22.7	17.6	38.7	34.0	16.0	42.0
	傾向値	41.2		38.9		35.9		28.4		21.3		16.2		13.5		18.6			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	20.3	11.4	6.4	18.7	11.5	10.3	7.2	16.4	13.3	3.7	7.6	9.3	6.5	7.6	-2.4	6.5		-2.4
	修正値	18.3	9.3	8.3	19.8	14.0	12.1	5.8	14.7	10.7	3.0	10.1	10.8	9.3	9.3	-1.6	5.9	-11.0	-1.2
	資金繰り	-26.7	-26.1	-20.5	-33.3	-29.0	-26.9	-47.7	-40.3	-33.8	-54.1	-27.8	-37.7	-26.9	-35.4	-40.0	-34.6		-48.8
	修正値	-24.5	-22.7	-18.5	-32.2	-30.9	-26.9	-45.4	-41.6	-33.0	-49.7	-26.8	-36.7	-29.4	-36.1	-36.6	-36.1	-7.0	-43.7
前年同期比	売上額	-30.1		-40.6		-57.4		-67.9		-77.9		-73.9		-59.2		-32.1			
	収益	-38.4		-46.3		-58.1		-64.7		-76.6		-73.9		-60.6		-33.3			
雇用	残業時間	-24.3	-20.2	-24.6	-4.1	-31.1	-24.6	-44.6	-27.9	-30.3	-34.1	-29.9	-27.6	-12.5	-29.4	-26.5	-22.2		-23.8
	人手	-16.2	-18.1	-10.1	-18.9	-15.0	-10.1	8.3	-6.7	15.6	10.8	7.4	16.9	-8.3	8.8	1.2	-1.4		2.4
借入金	借入難易度	2.7		4.6		1.6		10.8		21.3		5.9		11.3		-7.3			
	借入をした(%)	28.4	21.0	31.7	29.0	27.4	32.8	42.0	23.3	46.1	36.0	38.8	26.9	36.2	26.2	40.5	34.3		21.1
	借入をしな(%)	71.6	79.0	68.3	71.0	72.6	67.2	58.0	76.7	53.9	64.0	61.2	73.1	63.8	73.8	59.5	65.7		78.9
有効回答事業所数		75		79		62		86		77		80		78		85			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		対	R3
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		前期比	7～9月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-9.3	-12.2	-7.5	-9.3	-8.2	-6.0	-6.1	0.0	7.9	-4.9	-1.5	5.3	-4.2	-1.5	-2.4	-2.8		-1.2
	実施した	29.6	40.0	29.4	28.6	20.3	25.8	22.2	20.3	30.3	15.0	19.7	25.0	22.9	26.9	23.5	31.0		26.6
	事業用地・建物	2.8	6.3	4.4	4.3	1.7	4.5	3.7	0.0	1.3	2.5	4.5	0.0	4.3	3.0	3.7	2.8		2.5
	機械・設備の新・増設	15.5	18.8	11.8	8.6	8.5	12.1	7.4	5.1	9.2	6.3	1.5	6.6	4.3	6.0	9.9	9.9		8.9
	機械・設備の更改	9.9	18.8	7.4	14.3	1.7	7.6	4.9	6.8	6.6	3.8	9.1	9.2	5.7	11.9	8.6	11.3		10.1
	事務機器	9.9	8.8	16.2	10.0	13.6	7.6	8.6	11.9	11.8	6.3	13.6	9.2	12.9	9.0	8.6	12.7		7.6
	車両	11.3	7.5	7.4	4.3	3.4	3.0	4.9	6.8	9.2	3.8	3.0	7.9	10.0	6.0	4.9	7.0		6.3
	その他	2.8	2.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	1.4	0.0	2.5	1.4		1.3
	実施しない	70.4	60.0	70.6	71.4	79.7	74.2	77.8	79.7	69.7	85.0	80.3	75.0	77.1	73.1	76.5	69.0		73.4
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	65.3		69.2		66.1		81.2		83.1		76.1		70.8		80.2			
	人手不足	27.8		16.9		16.1		10.6		6.5		11.9		12.5		11.1			
	大手企業との競争の激化	2.8		1.5		0.0		0.0		2.6		3.0		0.0		3.7			
	同業者間の競争の激化	15.3		18.5		11.3		9.4		6.5		16.4		16.7		8.6			
	親企業による選別の強化	4.2		6.2		3.2		1.2		2.6		3.0		0.0		1.2			
	輸入製品との競争の激化	1.4		1.5		1.6		2.4		2.6		0.0		1.4		4.9			
	合理化の不足	8.3		6.2		6.5		5.9		10.4		7.5		6.9		4.9			
	利幅の縮小	16.7		18.5		29.0		24.7		20.8		23.9		20.8		28.4			
	原材料高	18.1		15.4		21.0		9.4		9.1		10.4		15.3		38.3			
	販売納入先からの値下げ要請	6.9		0.0		6.5		2.4		5.2		4.5		9.7		4.9			
	仕入先からの値上げ要請	6.9		4.6		8.1		5.9		3.9		3.0		4.2		12.3			
	人件費の増加	9.7		21.5		9.7		11.8		3.9		9.0		9.7		8.6			
	人件費以外の経費増加	6.9		12.3		8.1		5.9		9.1		7.5		8.3		2.5			
	工場・機械の狭小・老朽化	19.4		15.4		17.7		17.6		18.2		28.4		25.0		18.5			
	生産能力の不足	9.7		6.2		11.3		4.7		3.9		6.0		6.9		3.7			
	下請の確保難	9.7		9.2		8.1		9.4		3.9		10.4		6.9		1.2			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		1.6		1.2		0.0		0.0		0.0		1.2			
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0			
	地場産業の衰退	1.4		1.5		3.2		5.9		2.6		3.0		2.8		1.2			
	大手企業・工場の縮小・撤退	11.1		9.2		6.5		4.7		10.4		11.9		6.9		0.0			
	為替レートの変動	0.0		1.5		3.2		1.2		3.9		3.0		4.2		1.2			
	その他	5.6		1.5		8.1		7.1		7.8		6.0		4.2		3.7			
	問題なし	2.8		3.1		1.6		0.0		3.9		1.5		0.0		1.2			
重点経営施策（％）	販路を広げる	54.8		51.5		47.5		62.7		56.0		53.6		59.2		56.0			
	経費を節減する	47.9		38.2		37.7		56.6		48.0		55.1		47.9		50.0			
	情報力を強化する	16.4		26.5		18.0		20.5		24.0		21.7		21.1		19.0			
	新製品・技術を開発する	24.7		20.6		31.1		21.7		26.7		21.7		21.1		26.2			
	不採算部門を整理・縮小する	8.2		5.9		3.3		10.8		4.0		7.2		4.2		9.5			
	提携先を見つける	8.2		13.2		11.5		14.5		9.3		5.8		12.7		9.5			
	機械化を推進する	9.6		10.3		13.1		3.6		5.3		2.9		12.7		4.8			
	人材を確保する	37.0		33.8		21.3		13.3		18.7		18.8		19.7		22.6			
	パート化を図る	2.7		0.0		1.6		2.4		4.0		2.9		1.4		1.2			
	教育訓練を強化する	13.7		10.3		14.8		16.9		9.3		11.6		18.3		10.7			
	労働条件を改善する	2.7		4.4		9.8		3.6		2.7		1.4		2.8		7.1			
	工場・機械を増設・移転する	6.8		4.4		3.3		8.4		4.0		5.8		5.6		3.6			
	不動産の有効活用を図る	4.1		4.4		4.9		1.2		4.0		4.3		7.0		3.6			
	その他	0.0		2.9		3.3		2.4		1.3		2.9		0.0		2.4			
	特になし	6.8		10.3		4.9		6.0		9.3		8.7		4.2		4.8			
有効回答事業所数		75		79		62		86		77		80		78		85			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		対	R3
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		前期比	7～9月期
業況	良い	15.1	14.1	14.3	5.6	7.9	10.5	3.8	1.6	7.7	2.5	10.5	9.0	10.8	6.7	19.1	11.0		16.0
	普通	35.6	27.1	27.3	36.6	20.6	40.8	6.3	15.9	14.1	11.4	19.7	16.7	16.2	21.3	21.3	24.7		33.0
	悪い	49.3	58.8	58.4	57.7	71.4	48.7	89.9	82.5	78.2	86.1	69.7	74.4	73.0	72.0	59.6	64.4		51.1
	D・I	-34.2	-44.7	-44.2	-52.1	-63.5	-38.2	-86.1	-81.0	-70.5	-83.5	-59.2	-65.4	-62.2	-65.3	-40.4	-53.4		-35.1
	修正値	-33.1	-41.8	-44.6	-52.8	-58.9	-36.6	-84.4	-78.7	-70.3	-81.7	-62.1	-65.4	-59.5	-65.7	-38.8	-50.4	21.0	-36.2
	傾向値	-29.8		-34.3		-40.6		-50.0		-61.5		-67.9		-69.7		-63.8			
売上額	増加	21.9	17.4	15.6	19.4	20.6	14.5	2.5	7.9	15.4	10.1	25.0	15.2	12.2	13.2	29.8	21.9		29.0
	変らず	23.3	26.7	29.9	27.8	15.9	32.9	11.4	14.3	14.1	19.0	17.1	21.5	24.3	28.9	24.5	30.1		31.2
	減少	54.8	55.8	54.5	52.8	63.5	52.6	86.1	77.8	70.5	70.9	57.9	63.3	63.5	57.9	45.7	47.9		39.8
	D・I	-32.9	-38.4	-39.0	-33.3	-42.9	-38.2	-83.5	-69.8	-55.1	-60.8	-32.9	-48.1	-51.4	-44.7	-16.0	-26.0		-10.8
	修正値	-31.0	-37.5	-45.9	-38.9	-36.8	-30.1	-79.5	-67.0	-54.7	-58.6	-42.5	-51.3	-49.0	-40.5	-6.9	-24.5	42.0	-14.5
	傾向値	-26.3		-32.4		-37.8		-44.1		-52.3		-54.4		-54.7		-47.3			
収益	増加	17.8	16.3	15.6	11.1	16.1	11.8	2.5	6.5	16.7	10.1	21.1	15.2	12.3	11.8	28.7	24.7		26.6
	変らず	26.0	25.6	29.9	34.7	21.0	36.8	12.7	19.4	11.5	16.5	22.4	19.0	21.9	28.9	24.5	24.7		34.0
	減少	56.2	58.1	54.5	54.2	62.9	51.3	84.8	74.2	71.8	73.4	56.6	65.8	65.8	59.2	46.8	50.7		39.4
	D・I	-38.4	-41.9	-39.0	-43.1	-46.8	-39.5	-82.3	-67.7	-55.1	-63.3	-35.5	-50.6	-53.4	-47.4	-18.1	-26.0		-12.8
	修正値	-38.9	-41.5	-44.2	-46.1	-40.3	-32.8	-78.1	-65.5	-56.5	-61.7	-43.5	-52.4	-49.8	-43.5	-12.1	-26.4	38.0	-17.4
	傾向値	-30.0		-36.0		-39.6		-45.6		-53.7		-55.4		-55.8		-48.6			
価格動向	販売価格	-1.4	-7.1	-11.8	-9.9	-14.3	-11.7	-30.4	-22.2	-17.9	-35.4	-17.1	-20.3	-12.3	-14.5	6.4	0.0		10.6
	〃 修正値	-0.7	-3.8	-11.3	-6.9	-13.4	-10.7	-25.1	-22.7	-19.3	-31.2	-18.3	-18.6	-15.8	-16.4	7.9	-6.7	24.0	12.1
	〃 傾向値	-3.4		-4.0		-6.5		-11.4		-16.5		-19.3		-19.7		-14.8			
	仕入価格	36.1	30.6	10.5	22.5	4.8	14.5	3.8	3.2	16.9	-1.3	18.4	12.8	17.6	22.4	37.2	31.1		31.9
	〃 修正値	43.1	32.8	11.8	26.0	9.4	18.5	5.5	5.2	17.8	1.8	16.1	12.1	17.7	20.8	32.8	26.6	15.0	31.6
	〃 傾向値	34.3		32.5		25.3		17.4		11.4		10.0		12.6		18.3			
在庫・資金繰り	在庫数量	22.5	7.1	18.9	21.4	29.5	20.0	32.0	14.8	15.8	26.7	6.7	13.0	16.7	12.0	13.0	6.9		13.0
	〃 修正値	19.2	10.4	20.9	18.9	24.8	18.4	33.5	13.3	15.6	29.4	10.7	12.3	14.3	11.1	12.8	7.7	-1.0	14.2
	資金繰り	-11.1	-17.6	-6.5	-11.3	-12.7	-7.9	-32.1	-25.4	-14.3	-37.2	-2.6	-19.2	-17.3	-7.9	-13.8	-13.3		-21.3
	〃 修正値	-6.8	-16.3	-9.6	-11.1	-14.5	-8.5	-29.1	-25.8	-11.8	-33.7	-8.7	-19.2	-18.6	-12.1	-10.3	-13.3	8.0	-17.4
前年同期比	売上額	-27.8		-35.8		-53.2		-75.9		-66.7		-50.0		-43.1		6.5			
	収益	-36.1		-41.8		-58.1		-82.3		-70.5		-58.6		-47.2		-1.1			
	販売価格	-5.6		-1.5		-23.0		-36.7		-31.2		-22.9		-8.3		12.1			
雇用	残業時間	-6.9	-11.6	-12.1	-4.2	-22.6	-20.0	-55.1	-30.6	-31.2	-27.3	-14.3	-22.1	-34.7	-17.1	-23.4	-13.9		-13.8
	人手	-29.6	-25.6	-23.1	-27.5	-9.7	-15.4	15.4	-8.1	2.6	15.4	-2.9	0.0	1.4	-1.4	-6.5	-2.8		-8.6
借入金	借入難易度	7.0		3.1		-6.3		4.0		2.6		10.1		0.0		-6.6			
	借入をした(%)	34.7	28.0	32.8	25.8	35.0	28.6	40.3	31.1	46.2	42.3	46.4	29.2	40.3	22.4	34.0	18.8		19.1
	借入をしない(%)	65.3	72.0	67.2	74.2	65.0	71.4	59.7	68.9	53.8	57.7	53.6	70.8	59.7	77.6	66.0	81.2		80.9
有効回答事業所数		73		77		63		80		79		76		75		94			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		R3 4～6月期		対 前期比	R3 7～9月期
設備 投資 動向（％）	現在の設備	-8.7	-14.6	-7.9	-10.3	-3.4	-3.2	-1.4	-3.4	-8.3	-7.0	2.9	-8.5	-1.5	4.3	-3.4	-2.9		-2.3
	実施した	33.8	36.8	29.0	33.8	24.6	37.7	28.4	20.4	36.4	31.0	38.6	30.4	29.2	31.3	27.9	28.2		31.0
	事業用地・建物	4.4	1.3	1.6	0.0	1.8	4.9	1.4	0.0	5.2	4.2	7.1	2.9	2.8	3.0	1.2	1.4		2.4
	機械・設備の新・増設	8.8	3.9	6.5	4.6	1.8	8.2	8.1	0.0	5.2	7.0	5.7	2.9	1.4	7.5	5.8	0.0		4.8
	機械・設備の更改	5.9	6.6	4.8	7.7	1.8	8.2	8.1	3.7	6.5	2.8	2.9	8.7	4.2	10.4	3.5	5.6		7.1
	事務機器	19.1	23.7	22.6	18.5	15.8	21.3	16.2	16.7	20.8	18.3	24.3	17.4	16.7	14.9	19.8	22.5		14.3
	車両	14.7	11.8	12.9	12.3	14.0	14.8	10.8	11.1	13.0	7.0	12.9	10.1	11.1	10.4	4.7	5.6		9.5
	その他	0.0	2.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.2	1.4		1.2
	実施しない	66.2	63.2	71.0	66.2	75.4	62.3	71.6	79.6	63.6	69.0	61.4	69.6	70.8	68.7	72.1	71.8		69.0
経営 上の 問題 点（％）	売上の停滞・減少	60.0		53.8		58.3		77.6		66.7		69.1		66.2		61.3			
	人手不足	24.3		15.4		8.3		6.6		14.1		11.8		19.7		12.9			
	同業者間の競争の激化	21.4		21.5		18.3		21.1		17.9		19.1		21.1		21.5			
	輸入製品との競争の激化	1.4		0.0		0.0		2.6		1.3		0.0		0.0		1.1			
	流通経路の変化による競争の激化	10.0		9.2		10.0		9.2		3.8		7.4		2.8		9.7			
	合理化の不足	1.4		4.6		6.7		6.6		7.7		11.8		4.2		5.4			
	小口注文・多頻度配送の増加	10.0		9.2		6.7		6.6		12.8		14.7		9.9		6.5			
	利幅の縮小	28.6		35.4		36.7		23.7		30.8		19.1		32.4		23.7			
	取扱商品の陳腐化	7.1		9.2		3.3		2.6		3.8		5.9		4.2		5.4			
	販売商品の不足	0.0		7.7		11.7		6.6		5.1		7.4		4.2		7.5			
	販売納入先からの値下げ要請	1.4		1.5		3.3		7.9		3.8		4.4		4.2		1.1			
	仕入先からの値上げ要請	11.4		9.2		1.7		5.3		6.4		10.3		12.7		18.3			
	人件費の増加	10.0		13.8		6.7		10.5		9.0		7.4		9.9		8.6			
	人件費以外の経費の増加	11.4		9.2		6.7		7.9		7.7		5.9		1.4		5.4			
	取引先の減少	21.4		13.8		26.7		21.1		26.9		26.5		18.3		23.7			
	店舗の狭小・老朽化	5.7		3.1		1.7		2.6		1.3		4.4		0.0		1.1			
	代金回収の悪化	0.0		3.1		1.7		7.9		1.3		1.5		2.8		2.2			
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		4.2		1.1			
	駐車場の確保難	1.4		1.5		1.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	7.1		9.2		3.3		1.3		5.1		1.5		4.2		1.1			
	地場産業の衰退	4.3		4.6		3.3		1.3		2.6		0.0		5.6		2.2			
	為替レートの変動	12.9		9.2		13.3		6.6		12.8		7.4		11.3		16.1			
	大手企業・工場の縮小・撤退	2.9		7.7		3.3		7.9		9.0		2.9		4.2		4.3			
	その他	0.0		0.0		11.7		7.9		3.8		2.9		4.2		2.2			
	問題なし	1.4		3.1		1.7		1.3		2.6		4.4		4.2		4.3			
重点 経営 施策（％）	販路を広げる	56.9		56.9		54.0		55.3		59.0		69.1		59.2		67.4			
	経費を節減する	38.9		36.9		49.2		51.3		48.7		41.2		43.7		42.4			
	品揃えを充実する	19.4		20.0		17.5		15.8		10.3		13.2		21.1		13.0			
	情報力を強化する	31.9		23.1		27.0		38.2		35.9		27.9		22.5		32.6			
	新しい事業を始める	12.5		9.2		11.1		10.5		9.0		11.8		14.1		15.2			
	提携先を見つける	5.6		4.6		3.2		9.2		6.4		2.9		4.2		9.8			
	機械化を推進する	2.8		3.1		1.6		2.6		2.6		4.4		2.8		1.1			
	人材を確保する	23.6		24.6		19.0		15.8		19.2		23.5		19.7		22.8			
	パート化を図る	4.2		3.1		1.6		0.0		1.3		1.5		1.4		0.0			
	教育訓練を強化する	5.6		6.2		11.1		7.9		10.3		16.2		7.0		8.7			
	流通経路の見直しをする	6.9		6.2		7.9		2.6		2.6		2.9		11.3		5.4			
	取引先を支援する	2.8		1.5		3.2		0.0		5.1		2.9		1.4		2.2			
	輸入品の取扱いを増やす	4.2		1.5		6.3		1.3		2.6		1.5		2.8		6.5			
	労働条件を改善する	4.2		7.7		1.6		5.3		3.8		5.9		7.0		1.1			
	不動産の有効活用を図る	2.8		7.7		3.2		3.9		3.8		7.4		2.8		2.2			
	その他	1.4		1.5		0.0		5.3		1.3		1.5		2.8		2.2			
	特になし	11.1		10.8		6.3		6.6		9.0		7.4		9.9		4.3			
有効回答事業所数		73		77		63		80		79		76		75		94			

小売業

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和3年4月～6月期

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		対	R3
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		前期比	7～9月期
業況	良い	16.9	16.4	9.8	19.0	2.7	1.6	3.2	2.8	8.3	4.8	12.1	11.3	11.6	12.1	6.5	14.3		8.2
	普通	28.8	39.7	34.4	27.6	8.1	57.4	7.9	2.8	6.9	14.3	13.8	15.5	14.5	3.4	14.5	15.7		21.3
	悪い	54.2	43.8	55.7	53.4	89.2	41.0	88.9	94.4	84.7	81.0	74.1	73.2	73.9	84.5	79.0	70.0		70.5
	D・I	-37.3	-27.4	-45.9	-34.5	-86.5	-39.3	-85.7	-91.7	-76.4	-76.2	-62.1	-62.0	-62.3	-72.4	-72.6	-55.7		-62.3
	修正値	-29.8	-22.1	-49.6	-37.0	-85.3	-36.7	-84.2	-91.0	-73.7	-72.9	-66.0	-64.6	-59.7	-70.9	-69.4	-52.4	-10.0	-58.5
	傾向値	-33.9		-35.5		-44.7		-57.6		-68.7		-75.6		-74.6		-70.0			
売上額	増加	13.8	16.4	16.4	25.4	8.1	6.6	9.5	0.0	41.7	12.7	29.3	30.6	8.6	7.1	9.7	20.0		19.4
	変らず	22.4	34.2	36.1	22.0	2.7	55.7	3.2	13.5	9.7	20.6	10.3	31.9	18.6	8.9	17.7	24.3		27.4
	減少	63.8	49.3	47.5	52.5	89.2	37.7	87.3	86.5	48.6	66.7	60.3	37.5	72.9	83.9	72.6	55.7		53.2
	D・I	-50.0	-32.9	-31.1	-27.1	-81.1	-31.1	-77.8	-86.5	-6.9	-54.0	-31.0	-6.9	-64.3	-76.8	-62.9	-35.7		-33.9
	修正値	-45.7	-22.8	-39.3	-34.7	-75.1	-24.3	-77.6	-86.0	-11.2	-47.1	-41.1	-22.7	-50.5	-72.7	-60.0	-33.8	-9.0	-28.4
	傾向値	-25.4		-30.6		-39.4		-52.7		-54.6		-49.2		-47.1		-43.2			
収益	増加	10.2	13.7	13.1	16.9	0.0	3.3	7.9	0.0	33.3	11.1	20.7	27.8	4.3	3.5	9.8	21.4		11.5
	変らず	30.5	39.7	31.1	32.2	10.8	55.7	4.8	13.5	15.3	20.6	15.5	30.6	17.1	15.8	18.0	21.4		34.4
	減少	59.3	46.6	55.7	50.8	89.2	41.0	87.3	86.5	51.4	68.3	63.8	41.7	78.6	80.7	72.1	57.1		54.1
	D・I	-49.2	-32.9	-42.6	-33.9	-89.2	-37.7	-79.4	-86.5	-18.1	-57.1	-43.1	-13.9	-74.3	-77.2	-62.3	-35.7		-42.6
	修正値	-46.6	-27.0	-46.2	-40.0	-85.6	-31.3	-80.1	-85.8	-24.8	-53.6	-48.4	-26.1	-62.1	-73.0	-60.7	-34.1	1.0	-39.2
	傾向値	-34.3		-38.1		-46.9		-58.8		-61.2		-57.4		-55.6		-51.6			
価格動向	販売価格	0.0	-12.3	0.0	13.6	-21.6	-8.2	-19.0	-16.2	-2.8	-17.5	-6.9	-9.7	-17.4	-20.7	-9.7	-8.7		-9.7
	〃 修正値	1.0	-6.1	-3.2	12.0	-18.5	-8.4	-16.5	-17.0	-3.5	-9.1	-10.0	-12.3	-14.3	-20.6	-7.1	-12.4	7.0	-2.0
	〃 傾向値	-2.8		-2.6		-4.2		-8.1		-10.5		-11.7		-12.1		-10.4			
	仕入価格	33.9	34.2	24.6	45.8	2.7	16.4	3.2	-5.4	19.4	4.8	12.1	15.3	0.0	3.4	29.0	-4.3		32.3
	〃 修正値	40.3	35.9	25.7	44.3	7.9	22.3	4.0	-1.0	23.7	9.3	10.1	12.9	3.7	4.9	27.2	-0.8	24.0	32.1
	〃 傾向値	38.5		37.7		31.5		21.2		14.3		10.9		9.0		11.9			
在庫・資金繰り	在庫数量	13.6	2.7	13.3	13.6	10.8	8.3	14.1	5.4	4.2	6.5	10.3	2.8	4.3	10.3	21.0	4.3		17.7
	〃 修正値	12.0	4.4	13.7	12.0	10.1	7.7	16.5	3.6	4.1	9.6	10.4	2.9	3.7	9.4	18.5	1.8	15.0	17.8
	資金繰り	-23.7	-25.0	-31.1	-20.3	-66.7	-29.5	-46.0	-63.9	-28.2	-48.4	-41.4	-33.8	-42.0	-50.0	-30.6	-37.3		-29.0
	〃 修正値	-19.3	-24.0	-31.2	-18.5	-63.9	-29.2	-46.8	-61.7	-29.2	-47.1	-42.3	-35.8	-36.9	-49.5	-31.1	-34.2	6.0	-28.1
前年同期比	売上額	-41.7		-48.5		-75.7		-71.2		-80.4		-90.9		-78.3		-27.7			
	収益	-50.0		-72.7		-81.1		-72.9		-80.4		-88.6		-71.7		-34.0			
	販売価格	-5.6		18.2		-21.6		-18.6		-17.6		-22.7		-26.1		-6.4			
雇用	残業時間	-16.7	-2.5	-6.3	-2.8	-43.2	-29.0	-59.6	-29.7	-31.4	-40.4	-48.8	-21.6	-56.8	-47.6	-34.0	-40.9		-27.7
	人手	-30.6	-51.2	-53.1	-36.1	-18.9	-56.3	5.2	-24.3	11.8	-1.7	0.0	11.8	-13.0	0.0	0.0	-19.6		2.1
借入金	借入難易度	-2.9		-19.4		-19.4		14.8		10.4		12.2		7.1		-13.0			
	借入をした(%)	24.2	17.9	38.7	14.7	25.7	17.2	57.9	36.1	64.0	29.5	59.1	23.8	62.2	29.7	45.7	23.7		20.5
	借入をしな(%)	75.8	82.1	61.3	85.3	74.3	82.8	42.1	63.9	36.0	70.5	40.9	76.2	37.8	70.3	54.3	76.3		79.5
有効回答事業所数		59		61		37		64		72		58		70		62			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		R3 4～6月期		対 前期比	R3 7～9月期
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-8.6	-19.5	-9.7	-11.4	-8.6	-9.7	-15.8	-5.7	-18.4	-15.8	-27.9	-16.3	-9.1	-18.6	-10.9	-15.9		-13.3
	実施した	31.4	32.4	46.7	23.5	37.5	33.3	31.0	25.8	23.9	20.8	31.0	20.9	28.6	15.0	21.4	31.0		21.4
	事業用地・建物	2.9	8.8	10.0	2.9	6.3	7.4	6.9	3.2	4.3	5.7	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	4.8		4.8
	機械・設備の新・増設	2.9	14.7	20.0	5.9	12.5	14.8	22.4	9.7	13.0	11.3	14.3	7.0	16.7	10.0	11.9	16.7		4.8
	機械・設備の更改	20.0	14.7	20.0	11.8	18.8	14.8	10.3	12.9	15.2	15.1	7.1	14.0	9.5	2.5	4.8	16.7		9.5
	事務機器	11.4	5.9	16.7	2.9	21.9	11.1	12.1	12.9	4.3	1.9	14.3	7.0	4.8	7.5	7.1	4.8		4.8
	車両	2.9	14.7	3.3	8.8	9.4	7.4	6.9	0.0	4.3	3.8	7.1	4.7	2.4	2.5	7.1	2.4		4.8
	その他	0.0	2.9	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4		7.1
	実施しない	68.6	67.6	53.3	76.5	62.5	66.7	69.0	74.2	76.1	79.2	69.0	79.1	71.4	85.0	78.6	69.0		78.6
経営上 の問題点 (%)	売上の停滞・減少	54.3		69.7		77.1		85.5		88.0		88.1		86.0		81.8			
	人手不足	42.9		45.5		28.6		16.4		12.0		14.3		18.6		13.6			
	同業者間の競争の激化	20.0		18.2		5.7		5.5		12.0		7.1		11.6		15.9			
	大型店との競争の激化	11.4		6.1		2.9		1.8		4.0		4.8		9.3		0.0			
	輸入製品との競争の激化	2.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	利幅の縮小	14.3		15.2		8.6		21.8		32.0		23.8		25.6		11.4			
	取扱商品の陳腐化	8.6		6.1		5.7		1.8		2.0		2.4		7.0		6.8			
	販売商品の不足	0.0		0.0		2.9		0.0		2.0		2.4		0.0		2.3			
	販売納入先からの値下げ要請	2.9		0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		2.3		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	17.1		15.2		0.0		5.5		2.0		2.4		4.7		13.6			
	人件費の増加	22.9		27.3		22.9		12.7		12.0		9.5		16.3		15.9			
	人件費以外の経費の増加	8.6		9.1		14.3		10.9		6.0		9.5		7.0		6.8			
	取引先の減少	11.4		15.2		11.4		9.1		10.0		16.7		11.6		13.6			
	商圏人口の減少	2.9		0.0		2.9		5.5		18.0		7.1		7.0		2.3			
	商店街の集客力の低下	8.6		15.2		14.3		12.7		18.0		31.0		11.6		9.1			
	店舗の狭小・老朽化	11.4		3.0		2.9		0.0		4.0		2.4		4.7		6.8			
	代金回収の悪化	2.9		0.0		0.0		1.8		2.0		0.0		2.3		0.0			
	地価の高騰	2.9		3.0		2.9		0.0		2.0		0.0		4.7		4.5			
	駐車場の確保難	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.3		0.0			
	天候の不順	20.0		21.2		17.1		14.5		10.0		9.5		7.0		9.1			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		1.8		0.0		4.8		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		1.8		2.0		0.0		2.3		2.3			
	その他	0.0		0.0		34.3		18.2		8.0		7.1		9.3		20.5			
	問題なし	0.0		3.0		2.9		1.8		2.0		2.4		0.0		0.0			
重点 経営 施策 (%)	品揃えを改善する	27.8		25.0		14.7		25.5		28.6		31.7		26.2		34.0			
	経費を節減する	50.0		46.9		70.6		54.5		67.3		73.2		54.8		53.2			
	宣伝・広報を強化する	22.2		18.8		17.6		23.6		22.4		22.0		23.8		29.8			
	新しい事業を始める	13.9		9.4		2.9		16.4		20.4		19.5		21.4		27.7			
	店舗・設備を改装する	13.9		9.4		11.8		9.1		10.2		9.8		14.3		14.9			
	仕入先を開拓・選別する	19.4		21.9		11.8		14.5		8.2		4.9		4.8		17.0			
	営業時間を延長する	2.8		0.0		2.9		1.8		2.0		2.4		14.3		4.3			
	売れ筋商品を取扱う	30.6		12.5		17.6		21.8		24.5		14.6		14.3		23.4			
	商店街事業を活性化させる	13.9		12.5		8.8		3.6		6.1		17.1		11.9		6.4			
	機械化を推進する	5.6		9.4		0.0		1.8		4.1		2.4		0.0		6.4			
	人材を確保する	36.1		34.4		20.6		7.3		12.2		9.8		11.9		8.5			
	パート化を図る	8.3		12.5		8.8		5.5		4.1		4.9		9.5		4.3			
	教育訓練を強化する	8.3		21.9		8.8		3.6		8.2		7.3		9.5		4.3			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		3.1		0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		0.0			
	不動産の有効活用を図る	2.8		9.4		5.9		9.1		2.0		0.0		4.8		2.1			
	その他	2.8		0.0		0.0		7.3		0.0		7.3		2.4		4.3			
	特になし	0.0		6.3		11.8		10.9		10.2		7.3		2.4		6.4			
有効回答事業所数		59		61		37		64		72		58		70		62			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		対	R3
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		前期比	7～9月期
業況	良い	22.1	19.0	15.1	13.5	2.1	12.3	6.3	2.1	7.0	8.9	4.1	4.2	8.2	2.7	12.3	4.1		8.8
	普通	44.2	46.8	54.8	43.2	31.3	57.5	16.5	27.7	15.5	24.1	23.0	25.0	23.3	29.7	16.0	28.8		31.3
	悪い	33.8	34.2	30.1	43.2	66.7	30.1	77.2	70.2	77.5	67.1	73.0	70.8	68.5	67.6	71.6	67.1		60.0
	D・I	-11.7	-15.2	-15.1	-29.7	-64.6	-17.8	-70.9	-68.1	-70.4	-58.2	-68.9	-66.7	-60.3	-64.9	-59.3	-63.0		-51.3
	修正値	-10.3	-7.9	-17.6	-32.4	-63.9	-18.5	-66.8	-65.6	-68.3	-53.4	-69.8	-66.5	-59.5	-65.8	-56.8	-60.6	3.0	-48.7
	傾向値	-14.8		-14.1		-20.3		-33.5		-47.9		-62.0		-68.2		-66.2			
売上額	増加	10.4	24.7	19.2	20.0	4.3	11.3	8.9	8.5	20.8	21.8	16.2	14.1	11.0	5.4	19.8	12.3		22.5
	変らず	40.3	44.4	45.2	40.0	27.7	46.5	15.2	19.1	22.2	25.6	24.3	39.4	31.5	33.8	19.8	37.0		32.5
	減少	49.4	30.9	35.6	40.0	68.1	42.3	75.9	72.3	56.9	52.6	59.5	46.5	57.5	60.8	60.5	50.7		45.0
	D・I	-39.0	-6.2	-16.4	-20.0	-63.8	-31.0	-67.1	-63.8	-36.1	-30.8	-43.2	-32.4	-46.6	-55.4	-40.7	-38.4		-22.5
	修正値	-37.8	-2.4	-20.1	-22.7	-60.9	-25.7	-64.4	-62.6	-34.2	-29.3	-47.6	-35.1	-41.6	-52.2	-38.3	-36.6	3.0	-23.5
	傾向値	-12.6		-18.1		-26.3		-39.2		-46.2		-49.2		-50.4		-45.0			
収益	増加	11.8	19.5	17.8	17.6	10.4	11.3	8.9	10.4	16.7	16.7	16.2	15.5	8.2	8.1	14.8	9.6		20.0
	変らず	42.1	48.8	47.9	41.9	25.0	54.9	13.9	16.7	22.2	26.9	24.3	36.6	32.9	36.5	23.5	38.4		33.8
	減少	46.1	31.7	34.2	40.5	64.6	33.8	77.2	72.9	61.1	56.4	59.5	47.9	58.9	55.4	61.7	52.1		46.3
	D・I	-34.2	-12.2	-16.4	-23.0	-54.2	-22.5	-68.4	-62.5	-44.4	-39.7	-43.2	-32.4	-50.7	-47.3	-46.9	-42.5		-26.3
	修正値	-33.8	-12.2	-18.8	-25.2	-53.0	-19.3	-64.2	-60.0	-43.2	-39.7	-47.2	-34.5	-48.5	-46.0	-42.3	-38.2	6.0	-27.6
	傾向値	-16.8		-20.3		-26.2		-36.9		-44.6		-49.2		-52.1		-49.0			
価格動向	料金価格	-2.6	-1.2	-5.5	4.0	-16.7	-6.9	-22.7	-25.0	-16.9	-21.3	-17.8	-20.0	-12.3	-19.2	-11.3	-4.1		-5.1
	// 修正値	-2.3	0.0	-5.6	3.6	-15.8	-5.0	-20.8	-23.5	-15.3	-20.0	-18.2	-19.9	-13.2	-18.1	-10.1	-5.1	3.0	-4.5
	// 傾向値	-0.3		-0.7		-3.8		-9.0		-13.6		-17.0		-18.0		-16.0			
	材料価格	26.0	28.0	16.4	32.0	19.6	16.7	9.5	10.9	0.0	2.7	4.2	0.0	12.5	4.2	14.3	13.9		15.8
	// 修正値	27.8	27.2	18.1	33.5	20.7	17.8	10.6	11.9	2.9	5.1	5.5	2.0	10.3	4.2	13.4	12.3	3.0	16.3
	// 傾向値	28.4		27.2		24.4		20.4		14.6		9.8		7.4		7.1			
在庫・資金繰り	資金繰り	-13.0	-15.9	-5.5	-20.0	-35.4	-6.9	-50.6	-41.7	-33.8	-41.8	-32.4	-38.6	-32.9	-32.4	-28.4	-31.5		-21.3
	// 修正値	-12.5	-12.6	-8.0	-21.1	-33.6	-8.5	-47.4	-39.0	-33.6	-37.7	-34.0	-38.2	-30.4	-35.3	-24.9	-29.1	5.0	-18.9
前年同期比	売上額	-16.7		-28.6		-56.5		-62.5		-53.3		-50.0		-43.8		-12.5			
	収益	-20.0		-32.1		-63.8		-68.1		-56.7		-48.4		-45.3		-20.0			
雇用	残業時間	-8.3	-11.8	-17.9	-13.3	-35.4	-16.4	-57.5	-41.7	-26.7	-38.4	-35.5	-22.0	-25.0	-33.9	-28.8	-20.3		-17.7
	人手	-52.5	-46.4	-48.2	-50.0	-37.5	-52.7	-9.7	-25.0	-16.4	-15.3	-21.3	-21.7	-25.0	-19.7	-27.5	-21.9		-26.6
借入金	借入難易度	-3.4		1.9		-8.7		1.4		-9.8		-5.1		-1.6		1.3			
	借入をした(%)	22.0	20.6	20.0	7.1	26.1	9.3	40.6	20.9	32.3	23.9	37.1	16.9	34.4	12.5	31.6	20.7		8.1
	借入をしな(%)	78.0	79.4	80.0	92.9	73.9	90.7	59.4	79.1	67.7	76.1	62.9	83.1	65.6	87.5	68.4	79.3		91.9
有効回答事業所数		77		74		48		79		72		74		74		81			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		R3 4～6月期		対 前期比	R3 7～9月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-11.5	-8.7	-14.5	-11.5	-6.3	-22.2	-4.3	0.0	-5.2	-4.3	-8.2	-5.3	-10.9	-9.8	-9.0	-15.6		-7.8
	実施した	41.7	32.3	46.3	26.4	37.0	35.8	31.0	23.3	25.0	20.9	26.7	17.5	34.4	22.4	24.4	35.5		25.7
	事業用地・建物	5.0	1.6	1.9	3.8	0.0	1.9	2.8	2.3	3.3	6.0	3.3	1.8	4.7	5.2	0.0	6.5		4.1
	機械・設備の新・増設	10.0	11.3	22.2	5.7	15.2	13.2	11.3	7.0	13.3	6.0	3.3	7.0	7.8	3.4	3.8	3.2		6.8
	機械・設備の更改	16.7	16.1	14.8	13.2	13.0	9.4	8.5	7.0	8.3	7.5	10.0	5.3	10.9	13.8	6.4	16.1		8.1
	事務機器	16.7	9.7	14.8	3.8	8.7	11.3	9.9	7.0	8.3	6.0	8.3	5.3	9.4	5.2	10.3	8.1		10.8
	車両	21.7	14.5	18.5	5.7	19.6	15.1	9.9	9.3	10.0	10.4	13.3	10.5	15.6	5.2	16.7	16.1		13.5
	その他	3.3	1.6	1.9	0.0	2.2	1.9	1.4	2.3	0.0	0.0	1.7	0.0	1.6	1.7	1.3	3.2		1.4
	実施しない	58.3	67.7	53.7	73.6	63.0	64.2	69.0	76.7	75.0	79.1	73.3	82.5	65.6	77.6	75.6	64.5		74.3
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	43.3		40.7		60.4		65.7		67.2		62.3		58.7		60.3			
	人手不足	50.0		51.9		47.9		22.9		31.1		34.4		34.9		30.8			
	同業者間の競争の激化	16.7		22.2		10.4		15.7		14.8		16.4		12.7		15.4			
	大手企業との競争の激化	5.0		1.9		4.2		2.9		1.6		1.6		3.2		2.6			
	合理化の不足	3.3		5.6		2.1		8.6		4.9		8.2		7.9		9.0			
	利幅の縮小	16.7		14.8		22.9		20.0		19.7		18.0		22.2		14.1			
	取扱事務の陳腐化	1.7		0.0		0.0		1.4		1.6		0.0		0.0		2.6			
	材料価格の上昇	15.0		7.4		8.3		1.4		1.6		4.9		7.9		7.7			
	料金の値下げ要請	3.3		5.6		6.3		2.9		3.3		4.9		3.2		3.8			
	人件費の増加	25.0		35.2		27.1		20.0		19.7		19.7		25.4		20.5			
	人件費以外の経費の増加	15.0		7.4		10.4		7.1		3.3		8.2		9.5		5.1			
	技術力の不足	10.0		11.1		10.4		10.0		4.9		11.5		7.9		12.8			
	取引先の減少	5.0		5.6		10.4		7.1		13.1		13.1		17.5		12.8			
	商圏人口の減少	3.3		1.9		0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		1.3			
	地価の高騰	0.0		1.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	駐車場の確保難	5.0		3.7		2.1		2.9		1.6		3.3		4.8		0.0			
	店舗・設備の狭小・老朽化	6.7		3.7		4.2		7.1		3.3		1.6		4.8		5.1			
	代金回収の悪化	1.7		1.9		2.1		0.0		1.6		1.6		1.6		1.3			
	天候の不順	8.3		9.3		4.2		8.6		0.0		3.3		1.6		2.6			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	5.0		0.0		0.0		0.0		3.3		4.9		1.6		0.0			
	その他	3.3		1.9		8.3		11.4		6.6		4.9		6.3		9.0			
	問題なし	3.3		7.4		4.2		1.4		1.6		3.3		3.2		2.6			
重点経営施策（％）	販路を広げる	36.1		39.3		42.6		37.0		44.1		36.2		44.4		37.2			
	経費を節減する	42.6		48.2		44.7		49.3		55.9		48.3		41.3		44.9			
	宣伝・広告を強化する	13.1		12.5		14.9		12.3		8.5		8.6		9.5		9.0			
	新しい事業を始める	9.8		14.3		14.9		12.3		20.3		15.5		15.9		19.2			
	店舗・設備を改装する	4.9		0.0		2.1		4.1		1.7		3.4		6.3		3.8			
	提携先を見つける	9.8		3.6		6.4		6.8		5.1		12.1		6.3		6.4			
	技術力を強化する	18.0		21.4		21.3		17.8		15.3		17.2		20.6		17.9			
	機械化を促進する	1.6		1.8		0.0		4.1		1.7		1.7		4.8		3.8			
	人材を確保する	45.9		55.4		48.9		35.6		32.2		32.8		39.7		35.9			
	パート化を図る	3.3		1.8		4.3		2.7		0.0		1.7		3.2		3.8			
	教育訓練を強化する	11.5		16.1		14.9		13.7		13.6		15.5		14.3		19.2			
	労働条件を改善する	14.8		14.3		6.4		9.6		13.6		8.6		9.5		11.5			
	不動産の有効活用を図る	3.3		1.8		0.0		4.1		3.4		3.4		3.2		1.3			
	その他	3.3		1.8		2.1		9.6		1.7		5.2		1.6		1.3			
	特になし	8.2		5.4		6.4		2.7		3.4		3.4		3.2		5.1			
有効回答事業所数		77		74		48		79		72		74		74		81			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		対	R3
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		前期比	7～9月期
業況	良い	20.8	14.9	21.1	21.3	18.5	14.5	2.2	6.3	2.5	3.2	3.9	12.7	9.3	6.5	8.6	8.1		12.0
	普通	41.6	40.2	49.3	33.3	36.9	49.3	22.6	29.7	26.6	17.2	37.7	27.8	36.0	39.0	29.0	39.2		22.8
	悪い	37.7	44.8	29.6	45.3	44.6	36.2	75.3	64.1	70.9	79.6	58.4	59.5	54.7	54.5	62.4	52.7		65.2
	D・I	-16.9	-29.9	-8.5	-24.0	-26.2	-21.7	-73.1	-57.8	-68.4	-76.3	-54.5	-46.8	-45.3	-48.1	-53.8	-44.6		-53.3
	修正値	-10.8	-27.7	-17.3	-28.0	-32.2	-28.8	-64.9	-48.3	-63.2	-73.5	-58.0	-49.0	-51.2	-52.0	-42.4	-37.3	9.0	-46.4
	傾向値	-20.7		-18.2		-18.1		-25.3		-37.6		-49.8		-57.9		-57.9			
売上額	増加	20.8	20.2	23.9	28.9	21.5	25.7	7.5	9.4	13.9	14.0	15.6	29.1	17.1	16.9	11.8	14.9		18.5
	変らず	39.0	37.1	39.4	32.9	26.2	40.0	15.1	21.9	22.8	17.2	35.1	16.5	35.5	32.5	25.8	27.0		27.2
	減少	40.3	42.7	36.6	38.2	52.3	34.3	77.4	68.8	63.3	68.8	49.4	54.4	47.4	50.6	62.4	58.1		54.3
	D・I	-19.5	-22.5	-12.7	-9.2	-30.8	-8.6	-69.9	-59.4	-49.4	-54.8	-33.8	-25.3	-30.3	-33.8	-50.5	-43.2		-35.9
	修正値	-18.5	-27.9	-22.3	-21.0	-36.9	-12.4	-57.0	-42.4	-45.9	-54.9	-41.5	-35.7	-37.9	-36.8	-31.5	-22.2	6.0	-35.1
	傾向値	-17.4		-16.6		-20.4		-28.6		-36.9		-43.3		-45.9		-43.4			
受注残	増加	11.7	20.2	25.4	25.3	14.1	17.4	4.3	6.3	6.3	14.3	7.8	26.6	14.5	14.3	8.7	13.5		12.2
	変らず	50.6	41.6	32.4	36.0	43.8	37.7	22.8	33.3	35.4	23.1	53.2	24.1	38.2	41.6	38.0	35.1		34.4
	減少	37.7	38.2	42.3	38.7	42.2	44.9	72.8	60.3	58.2	62.6	39.0	49.4	47.4	44.2	53.3	51.4		53.3
	D・I	-26.0	-18.0	-16.9	-13.3	-28.1	-27.5	-68.5	-54.0	-51.9	-48.4	-31.2	-22.8	-32.9	-29.9	-44.6	-37.8		-41.1
	修正値	-26.1	-22.9	-27.2	-21.1	-25.9	-30.5	-60.3	-39.3	-48.8	-49.2	-40.4	-30.4	-34.3	-32.1	-33.7	-23.0	1.0	-40.7
	傾向値	-23.8		-23.6		-24.2		-29.8		-38.1		-43.1		-45.5		-43.1			
施工高	増加	22.1	24.7	25.7	28.9	26.6	24.6	5.4	9.5	11.8	14.3	14.3	28.9	20.3	14.5	9.9	13.5		20.9
	変らず	29.9	33.7	35.7	27.6	26.6	31.9	14.1	25.4	25.0	17.6	40.3	18.4	37.8	32.9	26.4	25.7		27.5
	減少	48.1	41.6	38.6	43.4	46.9	43.5	80.4	65.1	63.2	68.1	45.5	52.6	41.9	52.6	63.7	60.8		51.6
	D・I	-26.0	-16.9	-12.9	-14.5	-20.3	-18.8	-75.0	-55.6	-51.3	-53.8	-31.2	-23.7	-21.6	-38.2	-53.8	-47.3		-30.8
	修正値	-25.7	-21.1	-23.2	-24.3	-28.2	-24.2	-63.0	-37.7	-47.3	-53.5	-40.6	-33.0	-32.3	-41.2	-35.5	-29.6	-3.0	-30.8
	傾向値	-17.6		-18.1		-21.0		-28.5		-36.7		-42.2		-44.6		-42.1			
収益	増加	16.9	14.6	19.7	22.4	18.5	14.3	6.5	6.3	7.6	14.0	9.1	20.3	18.4	10.4	6.5	12.0		17.4
	変らず	35.1	37.1	46.5	38.2	29.2	45.7	17.2	26.6	30.4	14.0	40.3	27.8	32.9	36.4	31.2	29.3		28.3
	減少	48.1	48.3	33.8	39.5	52.3	40.0	76.3	67.2	62.0	72.0	50.6	51.9	48.7	53.2	62.4	58.7		54.3
	D・I	-31.2	-33.7	-14.1	-17.1	-33.8	-25.7	-69.9	-60.9	-54.4	-58.1	-41.6	-31.6	-30.3	-42.9	-55.9	-46.7		-37.0
	修正値	-30.8	-35.8	-24.8	-26.3	-36.9	-30.8	-58.8	-46.1	-50.8	-56.9	-50.1	-40.2	-36.1	-46.0	-40.9	-30.3	-5.0	-35.4
	傾向値	-28.4		-27.3		-28.7		-33.7		-40.2		-46.5		-49.5		-47.3			
価格動向	請負価格	-18.2	-16.9	-21.1	-18.4	-24.6	-20.0	-49.5	-39.1	-41.8	-44.1	-28.6	-27.8	-27.6	-27.3	-23.7	-32.0		-31.5
	〃 修正値	-15.8	-15.1	-24.6	-20.9	-27.6	-24.2	-41.3	-32.6	-37.9	-41.0	-33.4	-29.7	-31.6	-30.9	-17.1	-25.8	15.0	-29.1
	〃 傾向値	-13.7		-15.0		-18.9		-24.5		-31.3		-35.2		-36.5		-33.6			
	材料価格	48.6	41.9	45.6	52.8	37.7	38.8	19.1	35.0	18.7	21.6	16.0	16.0	20.3	16.0	34.4	23.3		37.1
	〃 修正値	46.5	44.3	46.9	51.0	38.6	38.6	23.0	35.9	18.6	26.2	17.2	16.2	18.5	16.3	34.2	21.5	16.0	37.0
	〃 傾向値	41.2		43.5		44.5		41.0		34.0		26.6		20.7		20.4			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	-1.4	-6.0	1.5	-5.6	-4.9	-1.5	1.1	-8.3	9.5	-2.3	5.4	6.8	-2.7	5.4	5.6	-5.6		2.3
	〃 修正値	-2.0	-3.0	1.3	-4.9	-3.1	-1.9	2.9	-8.3	7.1	0.4	3.7	5.2	0.0	3.9	6.8	-4.8	7.0	4.4
	資金繰り	-6.5	-20.5	-16.9	-12.0	-27.7	-21.4	-37.6	-35.9	-25.6	-41.3	-25.0	-30.8	-21.1	-23.7	-30.1	-22.7		-26.1
	〃 修正値	-7.4	-21.4	-15.3	-14.8	-26.1	-20.0	-35.3	-31.5	-27.6	-39.9	-24.3	-34.3	-20.9	-24.0	-26.2	-18.4	-5.0	-22.9
前年同期比	売上額	-14.3		-21.7		-18.5		-69.9		-71.8		-52.6		-40.9		-40.2			
	収益	-27.6		-26.1		-27.7		-69.9		-70.5		-55.3		-38.8		-49.5			
雇用	残業時間	-22.1	-10.2	-24.6	-13.2	-23.8	-17.6	-59.3	-39.7	-32.5	-47.8	-27.3	-23.4	-20.6	-22.1	-26.9	-29.9		-19.6
	人手	-52.6	-48.3	-53.6	-50.0	-50.8	-48.5	2.2	-31.7	-12.8	-5.5	-27.3	-30.8	-30.9	-31.2	-25.8	-20.6		-30.4
借入金	借入難易度	6.6		-2.9		-13.3		2.3		2.9		4.1		-6.0		-3.4			
	借入をした(%)	26.0	15.7	32.8	18.9	31.1	25.4	33.7	20.3	37.7	35.3	30.7	18.3	34.3	13.3	36.3	25.0		17.2
	借入をしない(%)	74.0	84.3	67.2	81.1	68.9	74.6	66.3	79.7	62.3	64.7	69.3	81.7	65.7	86.7	63.7	75.0		82.8
有効回答事業所数		77		71		65		93		79		77		76		93			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		R3 4～6月期		対 前期比	R3 7～9月期
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-17.1	-12.8	-1.5	-16.0	-6.3	-1.6	-6.7	-1.6	-3.9	-9.0	-6.8	-1.3	-10.4	-6.8	-13.6	-7.5		-16.1
	実施した	31.5	32.5	28.1	31.5	35.2	28.1	32.9	32.1	31.1	22.9	35.1	26.0	36.4	36.1	23.5	24.2		18.4
	事業用地・建物	1.4	2.4	4.7	6.8	1.9	6.3	3.5	1.9	4.1	3.6	4.1	4.1	3.0	2.8	3.5	1.5		3.4
	機械・設備の新・増設	8.2	2.4	4.7	8.2	5.6	4.7	10.6	3.8	8.1	7.2	6.8	8.2	9.1	6.9	4.7	6.1		4.6
	機械・設備の更改	5.5	6.0	7.8	4.1	9.3	4.7	3.5	3.8	6.8	4.8	6.8	5.5	6.1	9.7	2.4	4.5		4.6
	事務機器	12.3	14.5	17.2	8.2	24.1	17.2	18.8	18.9	13.5	10.8	24.3	15.1	24.2	23.6	11.8	12.1		10.3
	車両	27.4	19.3	12.5	23.3	18.5	12.5	16.5	15.1	20.3	8.4	18.9	12.3	15.2	18.1	11.8	15.2		4.6
	その他	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	3.0	1.4	1.2	0.0		1.1
	実施しない	68.5	67.5	71.9	68.5	64.8	71.9	67.1	67.9	68.9	77.1	64.9	74.0	63.6	63.9	76.5	75.8		81.6
経営上 の問題点 (%)	売上の停滞・減少	33.8		40.9		45.9		67.0		57.7		52.0		44.8		53.8			
	人手不足	43.2		50.0		39.3		31.9		30.8		33.3		35.8		31.9			
	大手企業との競争の激化	6.8		4.5		6.6		3.3		3.8		5.3		3.0		1.1			
	同業者間の競争の激化	17.6		13.6		9.8		17.6		17.9		10.7		16.4		15.4			
	親企業による選別の強化	4.1		3.0		0.0		0.0		5.1		2.7		1.5		1.1			
	合理化の不足	2.7		3.0		3.3		4.4		2.6		2.7		6.0		6.6			
	利幅の縮小	29.7		30.3		26.2		33.0		29.5		30.7		29.9		38.5			
	材料価格の上昇	14.9		15.2		13.1		7.7		10.3		9.3		10.4		17.6			
	下請の確保難	29.7		30.3		31.1		19.8		21.8		21.3		25.4		12.1			
	駐車場・資材置場の確保難	5.4		4.5		1.6		5.5		5.1		8.0		6.0		6.6			
	人件費の増加	14.9		18.2		23.0		13.2		11.5		12.0		17.9		11.0			
	人件費以外の経費の増加	9.5		9.1		13.1		9.9		6.4		12.0		9.0		5.5			
	技術力の不足	12.2		9.1		4.9		8.8		12.8		18.7		13.4		6.6			
	代金回収の悪化	1.4		0.0		0.0		1.1		0.0		1.3		0.0		2.2			
	天候の不順	4.1		6.1		0.0		2.2		7.7		1.3		0.0		7.7			
	地場産業の衰退	2.7		0.0		3.3		0.0		1.3		0.0		0.0		2.2			
	大手企業・工場の縮小・撤退	2.7		1.5		1.6		1.1		2.6		0.0		1.5		0.0			
	その他	0.0		3.0		9.8		3.3		5.1		0.0		6.0		1.1			
	問題なし	6.8		3.0		6.6		6.6		6.4		8.0		4.5		5.5			
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	36.5		35.8		32.8		28.9		29.5		35.5		40.3		38.5			
	経費を節減する	31.1		37.3		37.5		37.8		48.7		39.5		29.9		38.5			
	情報力を強化する	18.9		19.4		17.2		27.8		29.5		23.7		19.4		25.3			
	新しい工法を導入する	4.1		9.0		4.7		4.4		6.4		5.3		6.0		2.2			
	新しい事業を始める	5.4		4.5		1.6		11.1		3.8		11.8		6.0		7.7			
	技術力を高める	36.5		32.8		25.0		35.6		38.5		35.5		38.8		30.8			
	人材を確保する	54.1		41.8		48.4		38.9		43.6		39.5		46.3		39.6			
	パート化を図る	4.1		0.0		1.6		0.0		1.3		1.3		0.0		1.1			
	教育訓練を強化する	13.5		17.9		14.1		15.6		11.5		10.5		16.4		9.9			
	労働条件を改善する	17.6		13.4		17.2		13.3		12.8		11.8		13.4		8.8			
	不動産の有効活用を図る	4.1		3.0		1.6		2.2		2.6		2.6		4.5		3.3			
	その他	0.0		0.0		3.1		0.0		0.0		1.3		1.5		0.0			
	特になし	9.5		6.0		15.6		8.9		10.3		10.5		6.0		9.9			
有効回答事業所数		77		71		65		93		79		77		76		93			

調査の概要

1. 調査時期 令和3年4～6月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	85
卸売業	102	94
小売業	102	62
サービス業	102	81
建設業	102	93
合計	510	415